

はじめに

岐阜県博物館は、県立の総合博物館として昭和51年5月に開館して以来、「岐阜県にゆかりのあるもの」を中心にした調査研究・資料収集・保管・展示を行うことで、県民に広く学びの場を提供してまいりました。おかげをもちまして、平成22年度で開館35年目を迎えます。県民の学術文化の重要な拠点として、大変多くの皆様にご利用いただきましたことに心から感謝申し上げます。

ところで、ご承知のとおり平成20年6月に博物館法が改正され、博物館の在り方そのものが改めて大きく問われています。当館も県の中核博物館としての責務を果たすべく、時代の変化に対応した運営や活動が求められております。そこで当館では、PDCAサイクルの徹底運用と、県民志向・戦略構築・成果志向・説明責任といった基本原理に基づく新たな価値創造を目指した岐阜県博物館業務評価システムの構築や、博学連携といった教育現場との連携による質の高い学びを提供するため、運営改善に努めております。かつてない厳しい県財政状況の中、博物館の使命を十分に踏まえた社会教育や生涯学習の場として、皆様に広くご利用いただけるよう一層の充実を図ってまいります。

さて、平成21年度は、特別展1回、資料紹介展等6回、マイミュージアムギャラリー展示7回を実施いたしました。特別展「人、和して楽しむ～岐阜の文楽～」(9/15～11/15)では、実物資料や映像資料、並びに体験などを通して文楽の成り立ちと伝承活動を紹介し、地域に伝わる伝統芸能としての魅力に触れていただきました。このほか、関連催事として「講演会」、保存会各位のご協力を得て「文楽教室」(5回)を開催することができました。

また、資料紹介展として、「養老のお坊さんが絵を描いた！～博物画と標本による江戸の生物～」(4/25～6/28)、「TORIDAS～それは鳥です～」(6/27～8/30)、「ラジオ少年の見た夢～真空管から新幹線へ～」(11/17～12/23)、「長良川のある暮らし～遺跡は語る～」(1/5～2/14)、「自然を楽しむ科学の眼(第30回 日本自然科学写真協会写真展)」(2/16～3/22)、「博物館で“春”みいつけた！(春休み展示)」(3/20～4/11)を開催いたしました。更に、平成21年度から実施したアウトリーチ事業の一環である「自河自賛プロジェクト」や来館者の多い土・日・祝日等に当館職員と交流する「わくわく体験コーナー」などの教育普及事業を展開し、当館内外で多くの皆様楽しんでいただくことができました。

平成22年度には、特別展として、陸上とは異なる様相や生態系を持つ川について紹介する「川ーカワ・イイね！～流れが作り出す自然～」を開催します。岐阜県の川や川原をとりまく豊かな自然を県民の皆様にご覧いただける内容を企画しております。この特別展は、資料紹介展「川と海を旅する魚たち」と共に、本年度岐阜県で開催される「第30回全国豊かな海づくり大会」に協賛して開催するものです。このほか、本年度も、テーマ企画による資料紹介展、マイミュージアムギャラリーの展示(7回)、カルチャー講座、たのしい博物館、特別行事、わくわく体験コーナーなど、広く県民の皆様楽しんでいただける催しものを多数計画しております。さらには、ご来館された方々に安全・安心をご提供するため、施設設備のリニューアル工事等を実施します。また、調査研究活動、資料収集保管活動、当館サポーター協働事業、外部機関との連携といった博物館活動もスムーズに進められるよう努めてまいります。

ここに、平成21年度の活動の記録を紹介する『岐阜県博物館報 第33号』を刊行いたしました。県民の皆様をはじめ多くの方々にご高覧いただき、当館のさらなる発展のためにご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年4月1日

岐阜県博物館長 石田 克

目 次

はじめに	1
I 博物館概要	
○設置目的	3
○基本的性格と方針	3
○沿革・歴代館長名簿	4
○施設・設備	6
II 平成21年度のあゆみ	
○組織	8
○日誌抄	9
○岐阜県博物館協議会	9
○実施事業の概要	10
○平成21年度特別展 「人、和して楽しむ～岐阜の文楽～」	11
○資料紹介展 1	
「養老のお坊さんが絵を描いた！～博物画と標本による江戸の生物 <small>いきもの</small> ～」	12
○資料紹介展 2 「TORIDAS～それは鳥です～」	13
○資料紹介展 3 「ラジオ少年の見た夢～真空管から新幹線へ～」	14
○資料紹介展 4 「長良川のある暮らし～遺跡は語る～」	15
○第30回 日本自然科学写真協会写真展 「自然を楽しむ科学の眼」	16
○マイミュージアムギャラリー	17
○調査研究・資料収集活動	
□人文部門	19
□自然部門	21
□マイ・ミュージアム部門	23
○教育普及活動	24
○利用状況	32
○博物館関係団体	33
III 利用案内（平成22年度）	35

I 博物館概要

〔設置目的〕

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を収集、保管、調査研究、公開し、併せて教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

〔基本的性格と方針〕

1 基本的性格

- ・岐阜県の人文(考古、歴史、民俗、美術工芸)、自然(動物、植物、地学)等に関する諸資料の収集保管、展示、調査研究及びそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・県内外の博物館及び相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・学校・社会教育機関等との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発させるような生涯学習機関とする。
- ・館蔵資料や地域情報のデジタル化を進め、ホームページの広報機能と学習機能を充実させる。
- ・資料の収集及び保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

2 基本方針

(1) 資料収集

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

(2) 展示構成

展示は、常設展示と企画展示とする。

常設展示は、人文・自然の2部門に分け、それぞれ総合展示と課題展示を行う。総合展示は、概説的な内容とし、誰もが親しめる平易な展示とする。課題展示は、コーナー毎にテーマを設定して、概説にとどまらない、より深く理解するための展示とする。

企画展示は、一定期間に、特定のテーマを設定して年に数本を行う資料紹介展・特別展などがある。

展示は以下の点に留意する。

- ① 生涯学習の場として、幅広い年齢層に親しめる展示
- ② 資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示
- ③ 各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示

- ④ できる限り実物資料の展示とするが、更に図表、模型等他種類の資料も活用した展示
- ⑤ できる限り資料に直接触れることのできる展示
- ⑥ 視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示
- ⑦ 解説が明確で分かりやすい展示

各展示室の主題と内容は、次のとおりである。

○人文展示室1(人文総合展示)

主題「郷土のあゆみ」…先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。

○人文展示室2(人文課題展示・企画展示)

主題「郷土の民俗と美術工芸」…特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示する。

○自然展示室1(自然総合展示)

主題「郷土の自然とおいたち」…郷土の自然の概要を生態的に展示する。

○自然展示室2(自然課題展示)

主題「郷土のさまざまな自然」…特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。

○特別展示室(企画展示)

資料紹介展などの企画展示を行う。

(3) 調査研究

- ・博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

(4) 教育普及活動

- ・展示や博物館資料に関連した教育・普及活動を行う。
- ・学校教育や社会教育の関係機関・団体との連携・協力を努める。

〔沿革〕

昭和46年	3月	岐阜県百年記念事業推進委員会において、博物館の建設を決定	昭和59年	4月	特別展「濃飛の戦国武将」	姉妹県盟約20周年記念展「鹿兒島～その自然と歴史～」			
	4月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置		7月	特別展「ふるさとの昆虫」				
	6～9月	博物館懇談会を設ける		8月	入館者90万人を突破	11月	入館者140万人を突破		
昭和47年	4月	博物館開設準備室を設置 展示委員会を設ける	昭和60年	4月	特別展「濃飛の縄文時代」	平成 4年	3月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニュース」に対応する博物館の在り方について」答申	
昭和48年	8月	起上式挙行		7月	特別展「鉱物の世界」		4月	特別展「飛騨のあけぼの～交流する縄文・古代人～」	
昭和49年	3月	展示実施計画樹立		10月	特別展「美濃の刀剣」		7月	特別展「恐竜王国・恐竜～謎とロマン～」	
	10月	定礎式	昭和61年	4月	特別展「徳山の四季とくらし」		10月	特別展「近世に輝く濃飛の群像」	
昭和50年	3月	展示工事着手		7月	特別展「奥飛騨の自然」		11月	小中学生常設展入館料無料化	
	7月	本館建築竣工		9月	人文展示室Iを改装	平成 5年	3月	入館者150万人を突破	
昭和51年	1月	展示工事完了		10月	開館10周年記念式典を挙		4月	特別展「土と炎の芸術」	
	4月	岐阜県博物館条例公布 岐阜県博物館設置 展示資料等製作完了		10月	開館10周年記念式典を挙		9月	29日大型ほ乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘	
	5月	開館記念式典挙行 一般公開	昭和62年	4月	特別展「飛騨の弥生時代」		10月	特別展「失われゆく植物」	
	7月	「巨匠三人展」・「スポーツ栄光展」		7月	特別展「外国から侵入した生きものたち」		11月	「ハイパーハイビジョン風土記」イメージシミュレーションソフトの完成	
	8月	皇太子・同妃殿下行啓		10月	特別展「飛騨の匠」	平成 6年	1月	20日マイ・ミュージアム棟起工式	
	10月	入館料徴収開始	昭和63年	1月	自然展示室Iを改装		3月	大型ほ乳類足跡化石を展示	
昭和52年	5月	特別展「熊谷守一展」		4月	特別展示室ショーケース改修		4月	特別展「川に生きる～水運と漁業～」	
	7月	特別展「日本伝統工芸秀作展」		7月	特別展「ふるさとの湿原」		8月	恐竜の歯等荘川村で発見	
	11月	特別展「郷土の化石展」		10月	中部未来博'88記念展「中山道～美濃十六宿～」		9月	特別展「美濃山地の自然」	
昭和53年	4月	入館者30万人を突破		10月	特別展「中生代の化石」		10月	入館者160万人を突破	
	7月	特別展「濃飛の甲冑」	平成元年	4月	特別展「濃飛の古墳時代」		12月	ユタ州訪問（花フェスタ'95展示化石の借用、交流の推進）	
	10月	特別展「世界のコガネムシ」		7月	特別展「ふるさとの野鳥」		平成 7年	3月	マイ・ミュージアム棟工事の完成ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行美濃路編ソフト完成
昭和54年	4月	入館者40万人を突破		8月	16日恐竜足跡化石白川村で発見		4月	特別展「岐阜の淡水魚」	
	7月	特別展「濃飛の先史時代」		10月	特別展「移ろいゆく年中行事」		7月	花フェスタ'95にユタ州恐竜化石を展示	
	10月	特別展「世界の貝」		11月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」		10月	マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典挙行 一般公開	
	11月	「視覚障害者（触楽）コーナー」開設	平成 2年	4月	特別展「輪中と治水」		8月	恐竜ゼミナールGIFU'95開催	
昭和55年	4月	特別展「宝暦治水と薩摩藩」		7月	特別展「白山の自然」		10月	特別展「美濃・飛騨の古代史発掘～律令国家の時代～」	
	5月	入館者50万人を突破		10月	特別展「白山の自然」		12月	入定三百年記念「円空展」	
	7月	特別展「化石の世界」		10月	岐阜県博物館協議会から中間答申		平成 3年	3月	岐阜県博物館案内標識を設置
	10月	特別展「蓑虫山人」		4月	岐阜県博物館協議会に、「新しい時代・県民ニュース」に対応できる博物館の在り方について」諮問入館者130万人を突破		11月	円空シンポジウム「世界における円空」	
昭和56年	4月	特別展「美濃の絵馬」		7月	特別展「白山の自然」		平成 8年	4月	高校生常設展入館料無料化
	5月	入館者60万人を突破		10月	特別展「ふるさとの木文化」		5月	入館者170万人を突破	
	7月	特別展「御岳山は生きている」		7月	特別展「ふるさとの哺乳動物」		7月	開館20周年記念展「恐竜	
	10月	特別展「ふるさとの美濃古陶」		10月	置県120年・岐阜鹿兒島				
昭和57年	4月	特別展「高賀山の信仰」		10月	特別展「濃飛の仏像」				
	7月	特別展「ふるさとの植物」		12月	岐阜県博物館協議会から中間答申				
	10月	特別展「東洋の貨幣」	平成 3年	3月	岐阜県博物館案内標識を設置				
昭和58年	4月	特別展「岐阜県の考古遺物」		4月	特別展「ふるさとの木の文化」				
	5月	入館者80万人を突破		7月	特別展「ふるさとの哺乳動物」				
	7月	特別展「長良川」		10月	置県120年・岐阜鹿兒島				
	10月	特別展「郷土の生んだ先							

	のふるさとユタ」		代人の祈り～	5月	入館者230万人を突破
8月	アメリカ合衆国ユタ州ブリガムヤング大学付属地球科学博物館と友好提携調印式挙行	平成12年 7月	特別陳列「円空展～魂を木に刻んで～」	7月	特別展「線路はつづくよ～岐阜、鉄道のあゆみ～」
10月	飛騨美濃合併120周年記念展「岐阜県の明治維新」		特別展「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」	9月	特別展「『名水・温泉・名勝』展～水と大地のハーモニー～」
11月	飛騨美濃合併120周年記念「文化講演会」 講師 作家 阿川弘之氏 作家 山田智彦氏		9月 特別展「すばらしき東濃の自然、再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」	平成18年 4月	開館30周年記念式典挙行 開館30周年記念特別展「緑いきいき！岐阜の森」
平成 9年 3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 中山道編ソフト完成	平成13年 7月	11月 入館者200万人を突破	5月	開館30周年記念植樹 モリゾー・キッコロ来館 全国植樹祭中濃サテライト会場～来館者全員招待入館～
4月	特別展「花と鳥のイリュージョン～江戸の学問と芸術～」		特別展「あのころいた鳥～そういえばトキもおったげな～」	8月	入館者240万人を突破 飛騨美濃合併 130周年記念行事博物館 1日無料開放
9月	特別展「葉草のふるさと伊吹」		9月 特別展「七代目団十郎と国貞、国芳～芝居、錦絵、中山道～」	9月	飛騨美濃合併 130周年記念特別展「錦絵が語る美濃と飛騨」
11月	入館者180万人を突破 棚橋賞受賞「岐阜県博物館“マイ・ミュージアム”～来るべき世紀の新しい博物館を目指して～」 財団法人日本博物館協会表彰		11月 ハイビジョン静止画番組「石ころの動物園」（マイミュージアムギャラリー） 全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ2001 グランプリ受賞	11月	文化の日博物館無料開放
平成10年 3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 飛騨街道・郡上街道編ソフト完成 アロサウルス骨格標本展示	平成14年 2月	2月 NEDO共同研究事業太陽光発電システム完成	平成19年 7月	特別展「恐竜と生命の大進化～中国雲南5億年の旅～」
4月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」 完成記念事業：風土記フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」	3月	3月 バリアフリー対策事業小型モノレール（スロープカー）完成	9月	特別展「発掘された日本列島2007～新発見考古速報展～」
7月	特別展「つものつかぶとむし」	4月	4月 特別展「温泉展～湯の華からのメッセージ～」	10月	入館者250万人を突破
9月	特別展「能面へのいざない～白山山麓から～」	5月	5月 入館者210万人を突破	11月	文化の日博物館無料開放
平成11年 7月	特別展「恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～」	10月	10月 特別展「中山道街道400年」	平成20年 5月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」 3,800冊の寄贈を受ける 特別展「骨のあるやつ」
9月	入館者190万人を突破 特別展「恐竜時代」 入館者4万人突破	平成15年 7月	7月 特別展「昭和くらしの歩み～30年代を中心～」	9月	文化の日博物館無料開放
10月	特別展「水とまつり～古	9月	9月 特別展「野の幸・山の幸、岐阜～発見！キノコと山菜、葉草の魅力～」	平成21年 9月	特別展「人、和して楽しむ～岐阜の文楽～」
		10月	10月 入館者220万人を突破	10月	入館者260万人を突破
		平成16年 7月	7月 特別展「タイムトラベル石器時代～大昔はどんなくらしをしていたの？～」	11月	文化の日博物館無料開放
		9月	9月 特別展「里山ミュージアム～ドングリころころオオタカびゅーん～」		
		平成17年 4月	4月 高校生以下入館料年間無料化（特別展入館料無料化）		

歴代館長名簿

	在職期間（年度）	氏 名		在職期間（年度）	氏 名
1	昭和51年	小 幡 忠 良	11	平成7年～平成8年	清 水 廣 美
2	昭和52年～昭和54年	松 尾 克 美	12	平成9年～平成10年	高 田 晃
3	昭和55年～昭和56年	大 橋 桃之輔	13	平成11年～平成12年	遠 藤 祐 神
4	昭和57年～昭和58年	吉 本 幹 彦	14	平成13年～平成14年	高 橋 宏 之
5	昭和59年	関 谷 美智男	15	平成15年～平成16年	武 山 栞 司
6	昭和60年～昭和61年	廣 田 照 夫	16	平成17年	下 畑 五 夫
7	昭和62年～昭和63年	森 崎 利 光	17	平成18年	古 川 和 明
8	平成元年～平成2年	伊 藤 秀 幸	18	平成19年～平成20年	高 屋 一 行
9	平成3年～平成4年	篠 田 幸 男	19	平成21年	浅 野 裕 司
10	平成5年～平成6年	横 山 勢津男			

[施設・設備]

1 博物館

本館 4階

(ホール吹抜き)

人文展示室1

人文展示室2

特別展示室

図書資料室

休憩ラウンジ

特別収蔵庫

友の会事務局

学芸部

人文研究室

第1研究室

第2研究室

第3研究室

本館 3階

自然展示室1

メインホール

休憩ラウンジ

ピロティー

郷土学習室
(わくわく体験コーナー)

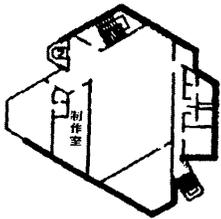
研修室

第6収蔵庫

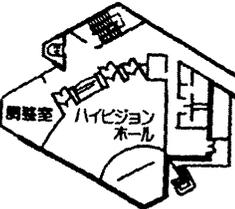
自然展示室2

講堂

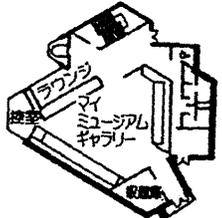
マイ・ミュージアム 4階



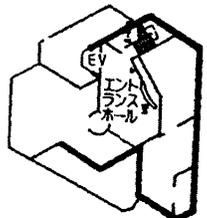
マイ・ミュージアム 3階



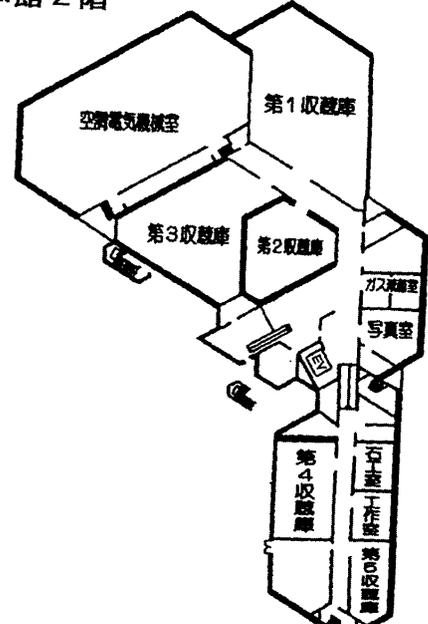
マイ・ミュージアム 2階



マイ・ミュージアム 1階



本館 2階



主要室（名称及び面積）

本館	室名	面積 (㎡)	マイ・ミュージアム	室名	面積 (㎡)
2階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0			
	第3収蔵庫	192.0	2階	マイミュージアムギャラリー 収蔵庫 収控室	202.3 25.3 18.5
	第4収蔵庫	99.4			
	第5収蔵庫	55.0			
3階	自然展示室1	583.8	2階	ハイビジョンホール 調整室	192.3 47.0
	自然展示室2	478.8			
	郷土学習室	95.4			
	講堂	174.5	3階	制作室等	281.3
	研修室	93.2			
	第6収蔵庫	142.8			
4階	人文展示室1	942.3	4階	制作室等	281.3
	人文展示室2	478.8			
	特別展示室	193.2			
	図書資料室	232.2			
	特別収蔵庫	142.8			

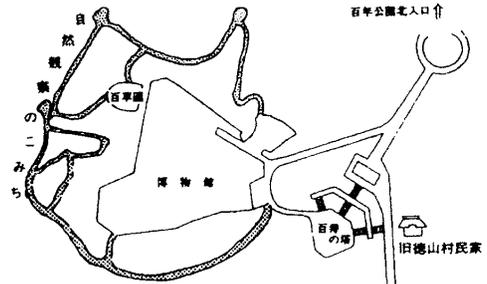
2 館外施設

(1) 自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約830mで、途中見晴らし台が3か所、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

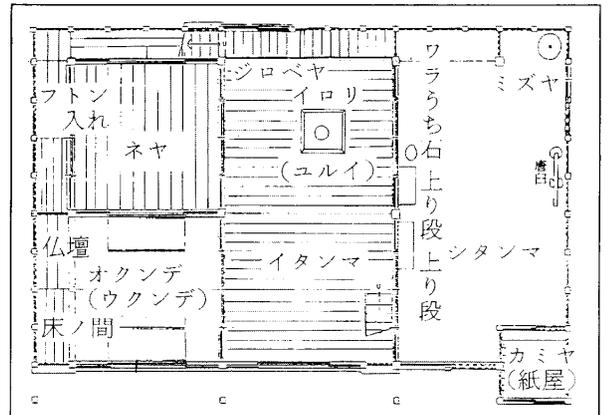
なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、樹木にQ&Aパネルを設置している。



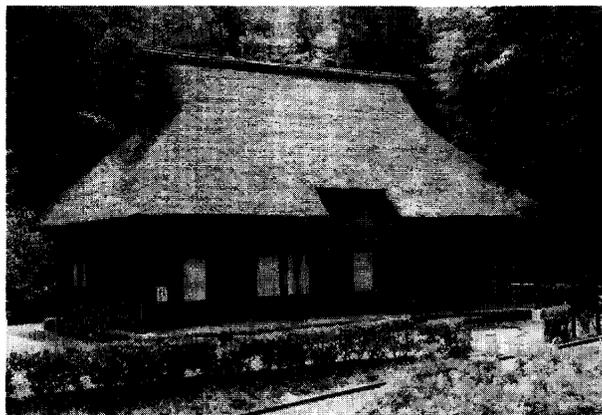
(2) 旧徳山村民家

徳山ダム建設計画に伴い、徳山村は閉村となり揖斐川町になったが、徳山の生活を後世に語り継ぐため、徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和62年10月7日、移築復元したもので、生活用具なども展示し、無料開放している。なお、平成13年9月、茅葺屋根の一部葺き替えを実施した。

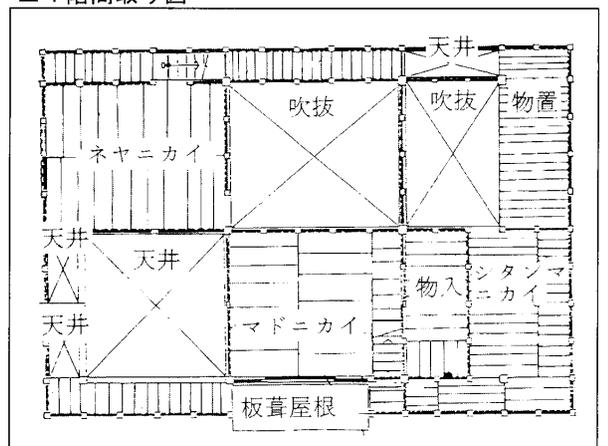
- ・様式：木造かやぶき2階建、南平入り
- ・主材：ブナ、トチ
- ・建面積：120.97㎡
- ・延面積：197.48㎡
- ・間取り：右図参照
- ・建築年代：幕末から明治初年ごろ（推定）
- ・屋根：入母屋、切り落とし窓つき



▲ 1階間取り図



旧徳山村民家

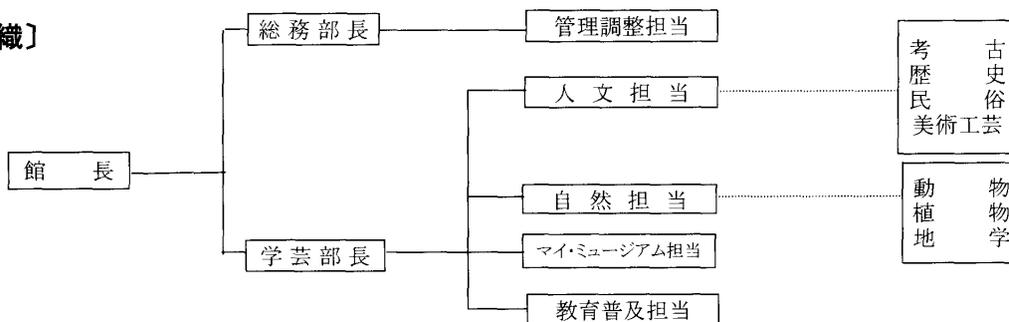


▲ 2階間取り図

II 平成21年度のあゆみ

【組織】

1 機構



2 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	浅野 裕司	【学芸部】		[マイ・ミュージアム担当]	
【総務部】		学芸部長	後藤 稔治	課長補佐	浦崎 太郎
総務部長	井上 幸治	[人文担当]		"	加藤 信男
[管理調整担当]		課長補佐(歴史)	山田 昭彦	[教育普及担当]	
課長補佐	林 隆	" (民俗)	山田 政春	課長補佐	山田 暁男
主査	山田 美樹	" (考古)	長屋 幸二	"	竹村 宗近
"	村山 朋子	主任(美術工芸)	守屋 靖裕	主任	志水 順子
主任	野田 路世	[自然担当]		学芸業務専門職	北野 憲弘
管理業務専門職	西部 真由美	課長補佐(地学)	西谷 徹	"	山本 義明
"	小泉 あゆみ	" (植物)	千藤 克彦		
"	米田 美里	主査(動物)	説田 健一		
"	岡 友恵	学芸業務専門職(古生物)	桂 嘉志浩		
"	江崎 絢子				
"	中塩 優子				
日日雇用職員	杉山 栄子				

3 異動

転出者	学芸部長	石田 克	転入者	館長	浅野 裕司
	課長補佐	坂口 浩之		総務部長	井上 幸治
	"	池上 尚		学芸部長	後藤 稔治
	"	和田 久司		主任	野田 路世
	主査	井上 充		"	志水 順子
退職者	館長	高屋 一行		管理業務推進職	中塩 優子
	副館長	佐藤 真治		日日雇用職員	杉山 栄子
	総務部長	臼井 明			
	管理業務推進職	瀬瀬 ひとみ			
	日日雇用職員	生駒 玲子			

〔日誌抄〕

- 4. 1 人事異動に伴う辞令交付
 - 1 ひょうたん展（～5/10）
 - 5 百年公園の自然を調べよう
- 12 ひょうたんの絵付け体験（墨流し）
- 15 里山ウォッチング
- 19 家族で春の里山ウォッチング
- 25 資料紹介展「養老のお坊さんが絵を描いた！～博物画と標本による江戸の生物～」（～6/28）
- 25 ギフチョウ観察会（雨天中止）
- 26 石をみがいてアクセサリーをつくろう
- 5. 3 化石のレプリカをつくろう
- 4 春のグリーンアドベンチャー
- 5 まが玉をつくろう
- 10 古文書入門(1)
- 17 講演「博物館の裏話―学芸員の仕事について―」
- 20 里山ウォッチング
- 24 茶陶志野焼 親子三代展（～6/28）
- 24 春の小川で魚釣り
- 6. 4 博物館活用講座「石器づくり・火おこし体験のツボ」
- 5 物館活用講座「五感を活用した自然観察の方法」
- 7 化石をみがいてペーパーウェイトをつくろ
- 14 楽しい折り紙教室
- 17 里山ウォッチング
- 20 家族で博物館探検
- 21 魚の捕り方教えまーピオトープの魚調べ
- 27 資料紹介展「TORIDAS～それは鳥です～」（～8/30）
- 7. 5 植物標本の作り方教室第1日目
- 12 植物標本の作り方教室第2日目
- 12 ぼくらの青春・鉄道コレクション（～8/16）
- 12 走る鉄道模型
- 15 里山ウォッチング
- 18 走る鉄道模型
- 19 家族で夏の里山ウォッチング
- 19 走る鉄道模型
- 20 江戸時代のおもちゃをつくろう（紙つばめ）
- 20 走る鉄道模型
- 22 博物館活用講座「生活道具を教材にしよう」
- 25 木の恐竜・動くおもちゃづくり
- 25 走る鉄道模型
- 26 家族で昆虫標本をつくろう
- 26 走る鉄道模型
- 8. 1 家族でナイトウォッチング
- 1 走る鉄道模型
- 2 まが玉をつくろう
- 2 走る鉄道模型
- 8 土笛・土鈴をつくろう
- 8 走る鉄道模型
- 9 ニワトリの頭骨標本をつくろう
- 9 走る鉄道模型
- 15 化石のレプリカをつくろう
- 15 走る鉄道模型
- 16 江戸時代のおもちゃをつくろう（紙つばめ）
- 16 走る鉄道模型
- 19 里山ウォッチング
- 23 化石のレプリカをつくろう
- 23 おもしろアート展～石ころに描いた世界～（～9/27）
- 29 石ころアートをつくろう
- 30 石ころアートをつくろう
- 9. 6 古文書入門(2)
- 15 特別展「人、和して楽しむ～岐阜の文楽～」（～11/15）
- 16 里山ウォッチング
- 20 文楽教室(1)
- 21 石ころアートで部屋を飾ろう
- 22 石ころアートで部屋を飾ろう
- 23 家族で博物館探検
- 10. 4 文楽教室(2)
- 11 甞る銀幕の英雄展～大正・昭和の時代劇史～（～11/15）
- 11 文楽教室(3)
- 12 木の実で遊ぼう
- 18 家族で秋の里山ウォッチング
- 21 里山ウォッチング
- 25 文楽教室(4)
- 11. 1 特別展講演会「美濃・飛騨 人形芝居の世界」
- 3 里山オリエンテーリング
- 3 講演会「大正・昭和の時代劇史」
- 7 哺乳類の写真を撮ろう(1)第1日目
- 8 文楽教室(5)
- 15 講座「岐阜のほとけたち」平成21年度版(1)講演
- 17 資料紹介展「ラジオ少年の見た夢～真空管から新幹線へ～」（～12/23）
- 18 里山ウォッチング
- 21 ラジオ少年講座 電気モーターをつくろう(1)
- 22 徳山の暮らしを体験しよう
- 23 講演会「ラジオ少年が夢見た新幹線～伝えたい、生かしたい、先人の知恵～」
- 28 ラジオ少年講座 電気モーターをつくろう(2)
- 29 佐藤一斎～その人と教え～（～1/17）
- 29 講演会「120分で聴く『言志四録』～佐藤一斎没150年記念講演～」
- 12. 5 ラジオ少年講座 電気モーターをつくろう(3)
- 6 カブトムシの幼虫を探そう
- 12 ラジオ少年講座 電気モーターをつくろう(4)
- 13 和風をつくろう（六角風）
- 16 里山ウォッチング
- 19 哺乳類の写真を撮ろう(1)第2日目
- 20 わら細工～しめ飾りをつくろう～
- 1. 5 資料紹介展「長良川のある暮らし～遺跡は語る～」（～2/14）
- 6 春の七草ウォッチング
- 7 七草がゆを食べよう
- 10 哺乳類の写真を撮ろう(2)第1日目
- 11 講座「岐阜のほとけたち」平成21年度版(2)講演
- 16 講演会「佐藤一斎の地平～その生涯と学問～」
- 16 社会人のための準デジタル・アーキビスト資格取得2日間講座(1/17)
- 20 里山ウォッチング
- 24 まが玉をつくろう
- 28 博物館活用講座「化石レプリカの作成方法」
- 31 津保川のカモを数えよう
- 31 懐かしいこと・新しいこと～本に見る和紙の世界～（～3/14）
- 2. 11 講座「岐阜のほとけたち」平成21年度版(3)講演
- 14 昭和の暮らしを体験しよう
- 16 第30回日本自然科学写真協会写真展「自然を楽しむ科学の眼」～3/22）
- 17 里山ウォッチング
- 21 家族で冬の里山ウォッチング
- 28 哺乳類の写真を撮ろう(2)第2日目
- 3. 7 早春のコンサートinミュージアム～春の音楽を生演奏で～
- 14 古文書入門(3)
- 17 里山ウォッチング
- 20 春休み展示「博物館で“春”みい～つけた！」（～4/11）
- 20 家族で博物館探検
- 21 百年公園の自然を調べよう（調査結果報告会）
- 22 講座「岐阜のほとけたち」平成21年度版(4)見学会

〔岐阜県博物館協議会〕

当協議会は、博物館の運営に関し、館長の諮問に応じ、また意見を述べる機関として、岐阜県博物館条例（昭和51年）第2条及び第3条の規定に基づいて設置され、委員は次のとおりである。

氏名	現職名
片岡 学史	岐阜放送放送業務本部・副本部長兼報道部長
片田 知行	中日新聞岐阜支社長
後藤 由美	岐阜県PTA連合会母親委員代表
古屋 康則	岐阜大学教育学部准教授（生理生態学）
近藤 栄美子	岐阜県小中学校校長会代表、本巣市立席田小学校長
鈴木 専英	岐阜県博物館友の会副会長
砂押 宏行	NHK岐阜放送局長
玉井 博祐	(名)玉井屋本舗 代表社員
名和 哲夫	名和昆虫博物館長、岐阜県博物館協会副会長
◎早川 万年	岐阜大学教育学部教授（歴史学）
平井 花画	岐阜県ユネスコ協会会長
安田 たか子	学校法人安田学園虹ヶ丘幼稚園長

◎会長 (平成21年11月14日現在 五十音順)

任期は平成20年9月24日～平成22年9月23日

〔開催状況〕

月日 11月6日
 場所 岐阜県博物館 講堂
 議題 ・将来構想に基づく3ヶ年計画について
 ・平成21・22年度の特別展等について

〔実施事業の概要〕

「夢が育ち、感動が体験できる博物館を目指して」を平成21年度方針として、特別展や資料紹介展などの企画展、マイミュージアムギャラリー展示を開催した。その他、参加体験型の教育普及事業として103本の催事、学芸員による小中学校への出前授業など多くの事業を展開した。また、2月に、文化庁の地域文化芸術振興プラン推進事業として、講演会「文楽への誘い」を実施した。昨年、検討し策定した将来構想に基づき、館内では「博物館サポーター」の養成を進め、館外では「自河自賛(じがじさん)プロジェクト」(機関連携・県民参加型アウトリーチ事業)を県内各地で7回実施した。

以前から大きな課題となっている施設・設備の老朽化とそれに伴う各種機器類の不調、展示室や収蔵庫の狭隘化等の改修については、一定の前進が図られた。すなわち、屋上防水・外壁改修・エレベーター更新・ピロティ部分の耐震補強工事・マイミュージアム棟4Fの収蔵棚設置等が、国の補正予算(地域活性化・経済危機対策臨時交付金)により行われた。

1 調査研究事業

人文分野では、岐阜県内の仏像や、遺物・遺跡、特別展で紹介した岐阜の文楽などの調査研究を行った。自然分野では、モニタリングサイト1000里地調査(植物、蝶類)を開始、ウシモツゴ保護に関する調査、乗鞍岳の植物分布調査、県内河川の岩石調査、皆既日食の観測(奄美大島)などを行った。科研費による研究課題「子ども

の科学的表現を高める環境学習プログラムの作成—自然のパターン把握を通して—の研究協力者として3年目を迎え、成果を報告した。また「下呂石研究会」は、人文・自然の両分野からのアプローチを行っている。

2 展示活動

特別展・資料紹介展などを下表のとおり実施した。

3 資料収集活動

人文分野では、錦絵「鬼面山と不知火の取組」を購入し、養老町の長井生氏より錦絵「東京名所之内金龍山浅草寺真景」等の寄贈を受けた。自然分野では、動物の骨格標本、はく製標本及び魚類の樹脂含浸標本を委託作成した。また、県内植物標本、県内動物標本などの資料の寄贈を受けた。

4 教育普及活動

学校との連携では、事前打合せを確実にし、団体入館の充実を図った。今年は新型インフルエンザ流行のため、中止・延期になる学校もあった。また学校への出前授業や、教員研修会等への講師派遣を多く行った。

郷土学習室を会場とした土・日・祝日・夏休み相当日の、「わくわく体験コーナー」では、来館者と職員やサポーターの交流の場となり、好評を博した。

各報道機関へのプレスリリースを充実させたことにより、新聞記事掲載の露出度や各情報誌への掲載数が昨年比べて大幅に増加した。新たに YouTube への動画配信も始めた。

展示活動

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入 館 者 数
常設展	年 間	人文関係では人文展示室1及び2の可変展示コーナーや独立ケースの展示替えを約30回行った。昭和の居間再現コーナーでは季節感を出す展示替えに努めた。自然関係では、三葉虫、岐阜県百年公園の昆虫、岐阜県の昆虫などの展示替えを行った。また今年も引き続き、人文展示室1と自然展示室1で下呂石に関して統一テーマで展示を行った。	—
春休み展示 「博物館で“春”みい〜つけた!」	22/3/20(土) 〜4/11(日)	常設展示の一部を春用に衣替えした。人文展示室では「土人形」「桜の錦絵」「梅の陶磁器」などを、自然展示室では「ギフチョウ」「カタクリ」などの春の動植物を解説した。	
特別展 「人、和して楽しむ〜岐阜の文楽〜」	9/15(火) 〜11/15(日)	実物資料や映像資料、体験ツールなどによって、文楽の成り立ちと伝承活動を紹介した。県内では、室原・真桑・半原・大井・恵那・付知の各保存会より出展。関連事業として、保存会のご協力による上演と文楽教室を実施した。	13,547
資料紹介展 「養老のお坊さんが絵を描いた!〜博物館と標本による江戸の生物〜」	4/25(土) 〜6/28(日)	江戸時代中頃に養老町のお寺の住職だった毘留舎那谷が描いた彩色生物図譜『東莠南畝識』から図を、実際の標本と並べて展示した。	10,078
資料紹介展 「TORIDAS〜それは鳥です〜」	6/27(土) 〜8/30(日)	博物館が所蔵する豊富な鳥類関係の資料を展示するとともに、岐阜県百年公園での鳥類調査の結果を紹介した。鳥類について知り、我々の生活とのかかわりを考える機会とした。	8,524
資料紹介展 「ラジオ少年の見た夢〜真空管から新幹線へ〜」	11/17(火) 〜12/23(水・祝)	無線機収集家小林巖氏が長年にわたり収集し、当館へ寄贈されたラジオ・無線機・新幹線関連資料を展示した。科学技術の発達を振り返る良い機会となった。	3,140
資料紹介展 「長良川のあるくらし〜遺跡は語る〜」	22/1/5(火) 〜2/14(日)	長良川上流域に見られる独特の縄文文化、東海と北陸をつなぐ回廊となっていたことをうかがわせる土器や須恵器、清らかな水に対する思いが表れた祭りの跡などを紹介した。	3,077
第30回日本自然科学写真協会写真展 「自然を楽しむ科学の眼」	22/2/16(火) 〜3/22(月・祝)	動植物・水中・気象・地形・風景・顕微鏡写真などを当館の実物資料を交えながら、自然の中の不思議さ、自然と人間の関わり、自然の大切さ等を考える機会とした。	3,470
マイミュージアムギャラリー	(P17参照)	各務原市愛蘭会出展の「ひょうたん展」をはじめ7回の展示会を実施した。	—

〔平成21年度特別展〕

1 展覧会名称

「人、和して楽しむ～岐阜の文楽～」

2 開催期間

平成21年9月15日(火)～11月15日(日)

3 趣旨

文楽は、日本を代表する伝統的な舞台芸術の一つである。太夫・三味線弾き・人形遣いが呼吸を合わせて魂のこもった喜怒哀楽のドラマを演じる。

岐阜県においても、江戸時代に西国の人形遣いによって伝えられた人形芝居が身近な娯楽として各地に定着し、村人総出の行事へと発展した。伝統の技はいまなお受け継がれている。県内では室原文楽(養老町)・真桑文楽(本巣市)・半原操り人形浄瑠璃(瑞浪市)・大井文楽(恵那市)・恵那文楽(中津川市)と「翁舞」として付知町翁舞の各保存会によって受け継がれている。

本展覧会では、県内外の実物資料や映像資料、触察用の人形などにより、文楽の成り立ちと芸能としての魅力をわかりやすく紹介するとともに、岐阜県において往時の人形遣いから現在の保存会まで文楽を支えてきた人々の活動の跡をたどった。また、関連事業として保存会の方々のご協力で文楽教室を実施した。来館者のみなさんに文楽を生で触れていただいた。

本展覧会で、郷土に伝わる文楽の面白さとそれをつうじて培われた地域の人々の結び付きの大切さをいま一度見直し、県民のかけがえのない文化財として認識を深めることができたと確信する。

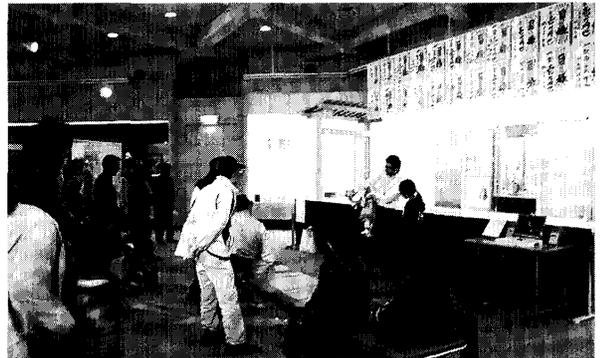


展示会場の様子

4 展示構成

- (1) 文楽の歴史
- (2) 三番叟 幸を願う
- (3) 三業 三位一体の技
- (4) 岐阜の文楽
 - ①先駆者
 - ②様々なかしら
 - ③伝承をまもる文楽
 - ④伝承が跡絶えた文楽
 - ⑤未来への継承

会場内に、三人遣いの舞台(『傾城阿波の鳴門 順礼歌の段』の一場面)と片手遣いの舞台(室原文楽保存会蔵)、『伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段』の一場面を再現した。



人形を使った展示説明の様子

5 関連事業

- ・特別展講演会「美濃・飛騨 人形芝居の世界」

日時 13時30分～15時

講師 安田 文吉(南山大学人文学部教授)

場所 ハイビジョンホール

- ・文楽教室5回

上演団体:真桑文楽保存会、大井文楽保存会、恵那文楽保存会、室原文楽保存会、半原操り人形浄瑠璃保存会

- ・江戸時代のおもちゃを作ろう 弁慶と牛若

わくわく体験コーナー(郷土学習室)で実施



恵那文楽保存会による文楽教室

〔資料紹介展1〕

1 展覧会名称

「養老のお坊さんが絵を描いた！
～博物画と標本による江戸の生物～^{いきもの}」

2 開催期間

平成21年4月25日(土)～6月28日(日)

3 趣旨

『東莠南畝識』は国立国会図書館に所蔵されている博物図譜(図鑑)である。江戸時代中頃(18世紀前半)に西濃沢田真泉(現在の岐阜県養老郡養老町沢田 真泉寺)の住職だった毘留舎那谷によって描かれた彩色図譜で、全3冊からなり、動・植物画計467点が掲載されている。

平成7年に慶応大学磯野直秀名誉教授によって発見され、写実性や充実度において江戸時代の秀逸な資料であることが明らかになった。また、図譜中に描かれている日本最古と思われるギフチョウ図を大垣の著名な博物学者である飯沼慾齋が模写していたことも明らかになった。

『東莠南畝識』の存在は一般にはまだよく知られていない。そこで、県民に広く紹介するためにこの資料紹介展を行った。

4 展示構成

描かれている博物画がいかに生物の特徴をとらえているかがわかりやすいように、博物画と標本を並べて展示した。なお、会期の前半、国立国会図書館から原本を借用し、貴重な図譜が里帰りした。

(1) 最古のギフチョウ図

日本最古と思われるギフチョウ図と、飯沼慾齋がそれを模写した図、ギフチョウの実物を並べて展示した。



ギフチョウ図とギフチョウ標本

(2) 『東莠南畝識』と博物学者たち

この図譜は、江戸時代の著名な博物学者である飯沼慾齋が模写をし、小野蘭山が動植物の名前の注釈をつけている。その後、明治時代になって東京帝国大学の植物学者白井光太郎教授が所有した後に国会図書館に寄贈された。ここでは、『東莠南畝識』に関わったこれらの博物学者と江戸時代に盛んだった博物学を紹介した。

(3) 色とりどりな植物の世界

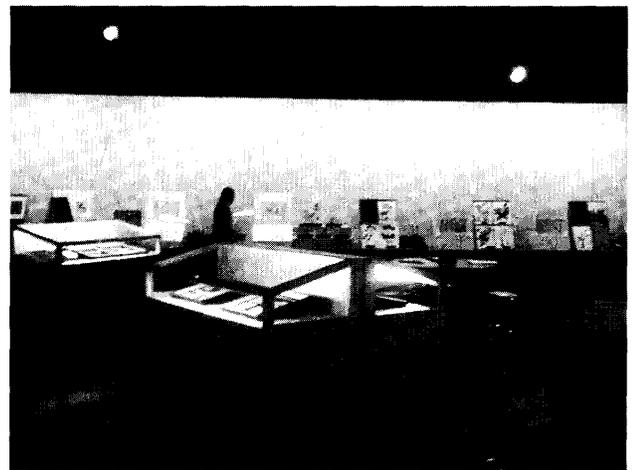
描かれた動植物画の中では植物が最も多く、しかも精密に描かれている。ここでは、図を植物標本やレプリカと一緒に展示し、作者がいかに植物の特徴を正確にとらえて描いているかを紹介した。

(4) 養老山地にもいた大アマゴ 動物画の世界

図譜の中には大アマゴの図があり、採集地として養老山地の谷の名前が記されていた。ここでは、鳥類や魚類などの図を標本と一緒に展示した。

(5) 君も描いてみよう！ 博物画の世界

博物画は写真がなかった時代に、生物を正確にスケッチして記録するために描かれていた。ここでは、来館者が、動物の剥製標本・昆虫標本・植物のレプリカ標本を見て自由に図が描けるようにした。



展示会場の様子

5 関連事業

・ギフチョウ観察会

日時 4月25日(土) 10時～12時

講師 当館学芸員

場所 岐阜県百年公園

・春のグリーンアドベンチャー(岐阜県百年公園)

日時 5月4日(月・祝) 9時～16時

講師 当館学芸員

場所 岐阜県百年公園

〔資料紹介展2〕

1 覧会名称

「TORIDAS～それは鳥です～」

2 開催期間

平成21年6月27日（土）～8月30日（日）

3 趣旨

鳥は空を飛ぶことができ、広い行動圏を持つために、広い地域の環境に影響されやすい動物である。そのため、私たちは、鳥の種類や数を調べ続けることで、地球環境の変化を知ろうとしてきた。当館でも、岐阜県百年公園の環境を知るために、環境省が実施するモニタリングサイト1000里地調査に参加し、ボランティアとともに鳥類の調査をはじめた。

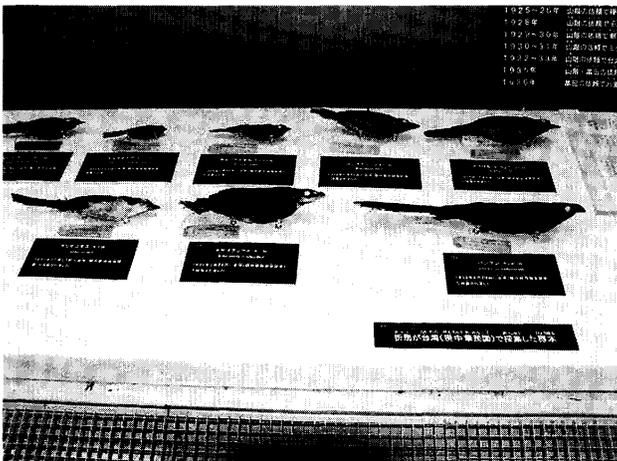
今回の資料紹介展では、これまでの調査の様子を紹介すると同時に、チャバラアカゲラやアホウドリなど当館が所蔵する膨大な鳥の資料を展示することで、鳥の体のつくりや生態を知り、鳥と私たちとの生活のかかわりを考える機会とした。

4 展示構成

(1) 博物館のコレクション

当館には、岐阜県内で収集されたものを中心に3075点の鳥類標本がある。このうち、代表的なコレクションである風間辰夫氏が収集した迷鳥の標本と（故）柳原要二氏が明治後期から昭和初期に収集した標本を紹介した。

- ・剥製とは何か
- ・風間コレクション
チャバラアカゲラ、タカサゴクロサギなど
- ・柳原コレクション
折居彪二郎が採集した標本など



展示の様子（1）

(2) 空を飛ぶしくみ

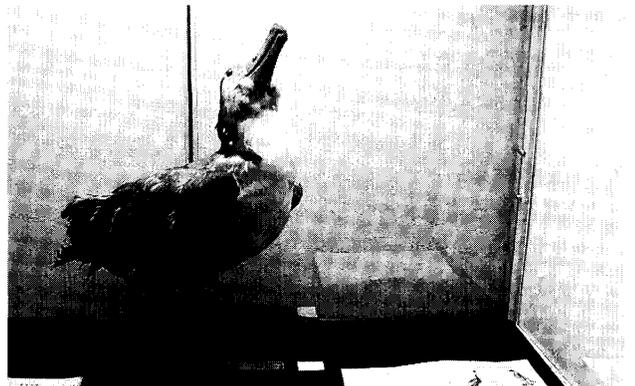
鳥類は、脊椎動物の中で、最も空中の生活に適応したグループである。空を飛ぶための体の仕組みを骨、羽毛、翼の標本などで紹介した。

- ・空を飛ぶ動物
- ・骨のかたち
- ・翼のかたち

(3) 鳥と人とのものがたり

鳥は人にとって、とても身近な生き物である。ここでは4つのコーナーで、それぞれの時代での鳥と人とのかわりをトピック的に紹介した。

- ・葬礼と稲作
オオタカ、ハヤブサ、ハイタカ
- ・学校から消えた剥製
高等学校が所蔵していたアホウドリとライチョウ
- ・乱獲と破壊
コウノトリ、岐阜県の絶滅危惧鳥類



展示の様子（2）

(4) 鳥を調べて環境を知る

当館では、岐阜県百年公園の環境を知るために、環境省が実施するモニタリングサイト1000里地調査に参加している。ここでは、里地調査の鳥類調査の概要と岐阜県百年公園の鳥類について紹介した。

- ・モニタリングサイト1000里地調査とは
- ・百年公園の鳥類

5 関連事業

- ・江戸時代のおもちゃをつくろう（紙つばめ）
7月20日（月・祝）、8月16日（日）各 13時30分～15時
講師 当館学芸員
場所 講堂
- ・ニワトリの頭骨標本をつくろう
8月9日（日） 13時30分～16時
講師 当館学芸員
場所 講堂

〔資料紹介展3〕

1 展覧会名称

「ラジオ少年の見た夢～真空管から新幹線へ～」

2 開催期間

平成21年11月17日（火）～12月23日（水・祝）

3 趣旨

岐阜市在住の無線機収集家、小林巖氏が当館に寄贈された資料の中から、同氏が収集した真空管時代の無線機、ラジオ、テレビ、電蓄、などの受信・音響機器、同氏が国鉄勤務時代に携わった東海道新幹線開業に向けての変電所建設や試運転に関する資料など、電気・電波関係のコレクションを展示した。受信・音響機器は、真空管の1本1本にいたるまで現在も使用できる生きた部品にこだわった資料の展示に努めた。

また、新幹線関連資料も、新幹線の開業当初の資料を中心として、稀少性の高い資料の展示を行った。

理科離れ、科学離れといわれる今日、身近なところで暮らしを支えてきた科学技術の大切さに目を向ける機会とする展示を心がけた。

4 展示構成

(1)真空管ってなに？・・・真空管の役割と変遷

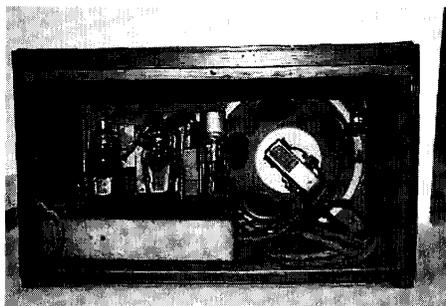
- ・ナス管、ダルマ管、ST型真空管、MT型真空管からトランジスタ、ICへ
- ・大正～昭和初期のラジオ（日本製、米国製）

(2)受信機の発達・・・ラジオからテレビへ

- ・ラジオ、無線機

国民受信機（昭和初期）、放送局型123号受信機（戦時中）、5球式スーパーラジオ（昭和20年代）、ポータブルラジオ（同）

飛一号一型無線機（戦時中）、アマチュア無線機（昭和30年代）



123型真空管ラジオ

(3)音響機器の発達…電蓄からステレオへ

- ・電蓄、ステレオ

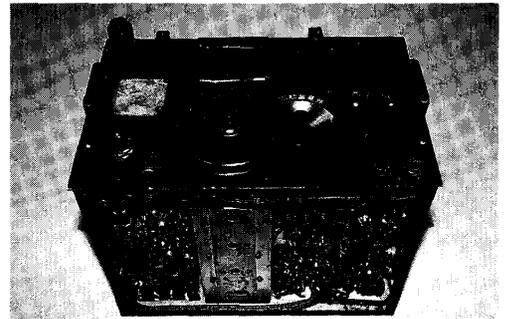
アマチュア製電蓄（昭和20年代）、アマチュア製卓上型電蓄（昭和20年代）

コロンビア製ステレオ（昭和35年）、ナショナル製ステレオ（昭和40年）

(4)夢の超特急開業へ…知られざる新幹線開業前夜

- ・『東海道新幹線』（昭和37年）、『新幹線電力供給設備の概要』（昭和37年）、東海道新幹線試運転列車ダイヤ（昭和39年）、東海道新幹線線路一覽略図（同）

- ・新幹線電気関係補修部品（コンデンサー他）



飛一号無線機

5 関連事業

- ・ラジオ少年講座「電気モーターをつくろう」

日時 11月21日（土）・28日（土）

12月5日（土）・12日（土）

各 13時30分～15時

講師 当館学芸員

場所 講堂

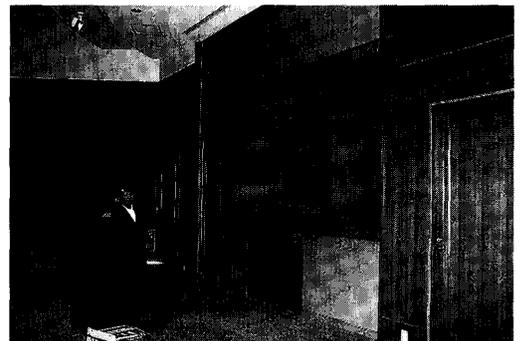
- ・講演会「ラジオ少年が夢見た新幹線

～伝えたい、生かしたい、先人の知恵～」

日時 11月23日（月・祝） 13時30分～15時

講師 小林巖氏

場所 ハイビジョンホール



小林巖氏による講演会

〔資料紹介展4〕

1 展覧会名称

「長良川のある暮らし～遺跡は語る～」

2 開催期間

平成22年1月5日(火)～2月14日(日)

3 趣旨

本展では、長良川流域にある遺跡の調査成果をもとに、人々の暮らしと川とのかかわりについて紹介した。展示は<第1部:遺跡の変遷>と<第2部:川と人とのさまざまなかかわり>からなる。第1部では長良川流域の遺跡を時代毎に紹介し、第2部では魚や石材など長良川で得られる物、長良川を介した交流、水の信仰といったテーマを設定した。

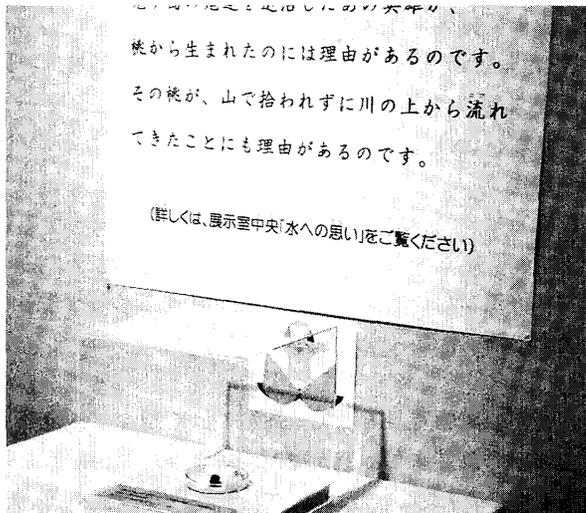
4 展示構成と主な資料

<第1部:遺跡の変遷>

- ①縄文時代 信仰石器
郡上市敬願寺遺跡出土石製品ほか
- ②弥生時代 斜面集落と平地集落
関市南青柳遺跡・岐阜市一本松遺跡出土弥生土器ほか
- ③古墳時代 横穴式石室と木棺直葬
関市杉ヶ洞古墳・郡上市西ヶ洞古墳出土須恵器ほか
- ④古代・中世 特産品の誕生
関市重竹遺跡出土砥石ほか
- ⑤近世 交通と物流
美濃市清願寺跡出土常滑産甕ほか

<第2部:川と人とのさまざまなかかわり>

- ①長良川からの恵み(漁労・石材)
美濃市清願寺跡出土鉄製釣針・土錘、関市高見遺跡



導入部では桃と川とのかかわりを示し、昔話をガイドに出土品から川への思いを読み取るための導入を行った。

岐阜市日野遺跡出土板取系珪質流紋岩資料ほか

③川を介した他地域との交流

郡上市勝更白山神社周辺遺跡出土大地式土器、関市陽徳寺裏山1号古墳出土角杯ほか

④水への思い

関市砂行遺跡 泉のほとりで出土した木製品ほか

<体験コーナー>

砂行遺跡出土の付札状木製品をもとにささらという楽器を復元した。出土品は薄く半分に裂く加工が施されている。裂く効果を明らかにするため、半裂したものとしなものを作成した。板を裂くことで、音は柔らかく低くなる。当時の人たちが好んだ音に思いを馳せることもできよう。



ささらの復元模型 右が半裂したもの

5 展示の留意点

導入部では、水への思いを物語る桃の種を1点展示した。川上より流れてきた桃から生まれた英雄の話とイラストをもって、展示コンセプトを示す導入とした。

また、比較することで理解を深められるような展示構成を心がけた。例えば、石棒・石冠と御物石器に見る縄文時代祭祀具の違い。当館を挟んで上流域と下流域の、弥生集落の景観や煮炊き具の違い。6世紀以降の横穴式石室と木棺直葬の違いなどを視点とした。

しかし、比較できるような展示構成としても、来館者が比較して見ようとするとは限らない。コーナーパネルで比較するテーマを示すだけでなく、キャプションも比較して欲しい視点を示すことを念頭に置き作成した。



丘の急斜面に広がる集落
関市 南青柳遺跡
岐阜県文化財保護センター蔵

かたやこちらは平地の集落
岐阜市芥見 一本松遺跡
当館蔵

弥生時代の集落は、多くが水田を作りやすい平野部に営まれます。しかし、弥生時代の終わり頃、長良川中流域の美濃市・関市あたりでは、丘の急斜面に集落が発達します。

南青柳遺跡などが広がる丘陵から10kmほど長良川を下り岐阜市域に入ると、急斜面集落は姿を消します。ほんの少し離れただけで、驚くほど集落の景観が異なります。

当館を挟んで、長良川の上流域と下流域の弥生遺跡を比べる。煮炊き具の形、集落の立地など大きく異なる。資料名ではなく、資料を見る視点をキャプションの題として示した。

〔第30回 日本自然科学写真協会写真展〕

1 展覧会名称

「自然を楽しむ科学の眼」

2 開催期間

平成22年2月16日(火)～3月22日(月・振休)

3 趣旨

日本自然科学写真協会 (Society of Scientific Photography 略称SSP) は、自然科学を中心に写真と科学の間の架け橋を築くことを目指して1978年に発足した。以来、動物写真・水中写真・天体写真・瞬間写真などマイクロからマクロまでの世界を科学の眼で撮影し、日本自然科学写真協会写真展 (SSP展) を開催してきた。

今年度もプロ写真家を中心に、セミプロやハイアマチュアまでの写真家の作品も含め、動植物、水中、気象、地形、風景、顕微鏡写真などを当館の実物資料を交えて紹介した。自然の中の不思議さ、自然と人間との関わり、そして自然の大切さなどを感じる機会としたい。

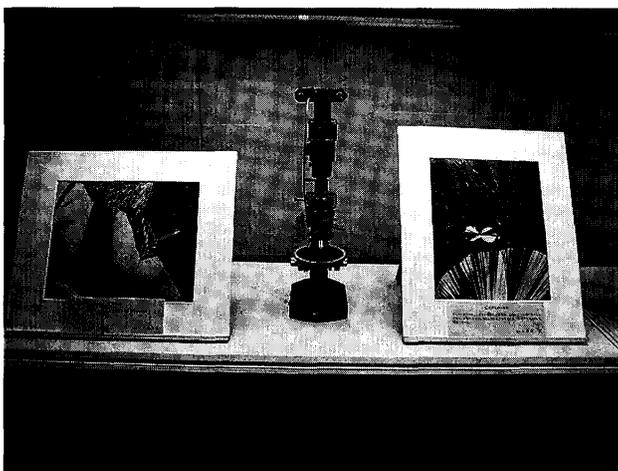
4 展示構成

日本をはじめ、世界各地で撮影された素晴らしい122点の作品を、7つのコーナーに分類して展示した。どの作品も、周到な準備と長年蓄積されたノウハウを活かして撮影された写真ばかりである。

また写真作品に関連した当館の実物資料を展示し、写真展を博物館で行うことの意義を示した。

(1) 顕微鏡・科学

人知れず繰り広げられる微少な現象を、顕微鏡をはじめ、さまざまな光学機器を利用して、その複雑で美しい姿を捉えた作品を展示した。「しゃぼん玉・光の干渉」(撮影：松下理一) など11点



展示の様子(1)

(2) 昆虫類

マクロレンズやストロボなどを駆使して、昆虫のさまざまな生態をクローズアップした作品を展示した。「ゴマダラカミキリ」(撮影：高嶋清明) など30点

(3) 水中・水棲生物

魅力的な被写体が多い水の中、しかし撮影には陸上と違った照明条件が要求される。水中に生きる生物を捉えた作品を展示した。「くじら3頭」(撮影：中村征夫) など15点

(4) 哺乳類・両生爬虫類

哺乳類をはじめ、両生類や爬虫類の生態をできる限り自然に近い状態で撮影した作品を展示した。「キクガシラコウモリ」(撮影：安島 博) など13点

(5) 鳥類

飛翔する被写体を的確に、その一瞬を捉えることは長年の勘と技術が要求される。自然の中でいきいきと活動する鳥たちを捉えた作品を展示した。「コサギ」(撮影：石井恵美子) など17点



展示の様子(2)

(6) 山岳・天体・自然風景

大自然がつくり出す景観は、まさに芸術である。その壮大な自然の姿が感じられる作品を展示した。「オーロラの乱舞」(撮影：竹澤恒雄) など27点

(7) 植物

比較的動きの少ない植物であるが、植物が表現する色や形には、思わず見入ってしまうものがある。その姿を忠実に再現した作品を展示した。「ツチグリの孢子噴出」(撮影：埴 沙萌) など9点

※ 当館の実物資料として、鳥類のはく製など、全45点を展示した。また、偏光や干渉などの可視化技術を体験していただき、理解を促すコーナーを設置した。

〔マイミュージアムギャラリー〕

1 運営の概要

県民（在住、在勤、ゆかりの人）が収集・所蔵しているコレクションや生涯学習の成果作品を募集し、一定期間、公開展示の場とする。マイミュージアムギャラリー企画運営委員会によって審議された内容を参考に作成した展示計画に従い、順次展示をする。出展者の募集は常時行っている。

2 平成21年度の展示状況

回	展示期間	出展内容	出展者
1	4月1日(水) ～ 5月10日(日)	ひょうたん展	各務原市愛瓢会
2	5月24日(日) ～ 6月28日(日)	茶陶志野焼 親子三代展	樋口力三
3	7月12日(日) ～ 8月16日(日)	ぼくらの青春・ 鉄道コレクション	大鋸忠雄 本田博志
4	8月23日(日) ～ 9月27日(日)	おもしろアート展 ～石ころに描いた 世界～	遠渡宏幸
5	10月11日(日) ～ 11月15日(日)	甦る銀幕の英雄展 ～大正・昭和の時 代劇史～	高木紀彦
6	11月29日(日) ～ 1月17日(日)	佐藤一斎 ～その人と教え～	佐藤一斎顕彰会 NPO法人い わむら一斎塾
7	1月31日(日) ～ 3月14日(日)	懐かしいこと・新 しいこと～本に見 る和紙の世界～	大滝國義

3 展示記録「マイ・コレクション」の発行

展示紹介チラシ「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。会場内で来場者に配布するとともに、出展者が自主的に行う広報活動の資料として活用した。平成21年度は7年度からの通番で第110号から第116号まで発行した。

4 出展者による解説・講演・実演等の開催

来場者と出展者、来場者同士の情報交流やふれあいの場として、また、体験を通して展示内容についての理解を深めたり、親しみを感じてもらったりするために、出展者が主催者となって、解説、講演、実演等の催しものを開催している。

○第1回展示「ひょうたん展」

- ・教室 「ひょうたんの絵付け体験(墨流し)」
- 日時 4月12日(日) 13時～15時
- 講師 各務原市愛瓢会
- 場所 マイミュージアムギャラリー

○第3回展示「ぼくらの青春・鉄道コレクション」

- ・実演 「走る鉄道模型」
- 日時 7月12日(日)～8月16日(日)の毎週土曜日・日曜日及び祝日 13時～15時30分
- 出演 大鋸忠雄氏、本田博志氏
- 場所 マイミュージアムギャラリー



実演「走る鉄道模型」の様子

出展者の一人である大鋸忠雄氏が手作りのジオラマで鉄道模型を走行させる実演を行った。プラットホームや架線、沿線の住宅や商店街、公園、木々や畑、通りを歩く人々など、ある街の風景を再現したかのような本物そっくりの小さな世界、そして、そこを走る今では見られなくなった懐かしい蒸気機関車や電車。子どもばかりではなく大人まで時間が経つのを忘れ、目を輝かせながら観覧していた。

○第4回展示「おもしろアート展」

- ・教室 「石ころアートをつくろう」
- 日時 8月29日(土)・30日(日)
各 13時30分～15時30分
- 講師 遠渡宏幸氏
- 場所 講堂



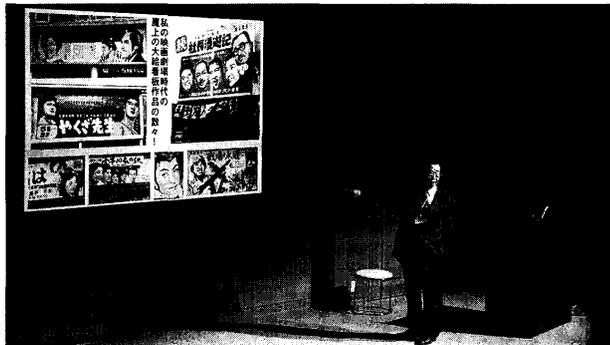
教室「石ころアートをつくろう」の様子

- ・教室 「石ころアートで部屋を飾ろう」
- 日時 9月21日(月・祝)・22日(火・休)
各 13時30分～15時30分
- 講師 遠渡宏幸氏
- 場所 講堂

「石ころアートをつくろう」と「石ころアートで部屋を飾ろう」は、それぞれ小中学生と一般を対象に2日間ずつ開催した。6割程度の参加人数であったが、講師の遠渡氏が一人一人に時間をかけてアドバイスをすることができ、参加者は「丁寧に指導していただいてよかったです。」と満足そうに感想を口にしていた。

○第5回展示「甦る銀幕の英雄展」

- ・講演 「大正・昭和の時代劇史」
日時 11月3日(火・祝) 13時30分～15時
講師 高木紀彦氏
場所 ハイビジョンホール

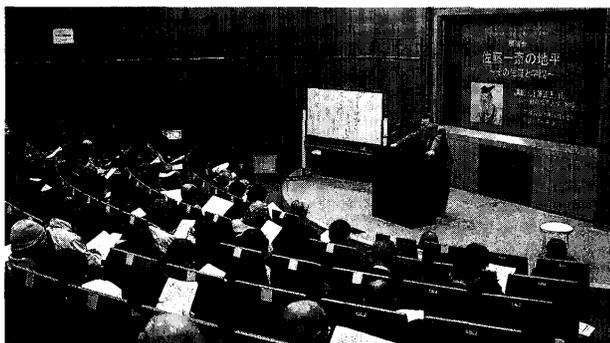


講演「大正・昭和の時代劇史」の様子

大正時代から昭和時代にかけての映画史を紹介する講演では、映画史の変遷に加えて高木氏が戦前の映画ポスターに関する情報を収集する過程で得た映画界のさまざまなエピソードを紹介した。普段なかなか耳にすることのない話に、聴衆は興味津々の様子であった。

○第6回展示「佐藤一斎」

- ・講演 「120分で聞く『言志四録』」
日時 11月29日(日) 13時30分～15時30分
講師 杉山巖海氏(名古屋大原学園)
場所 ハイビジョンホール
- ・講演 「佐藤一斎の地平 ～その生涯と学問～」
日時 平成22年1月16日(土) 13時～15時
講師 近藤正則氏(岐阜女子大学)
場所 ハイビジョンホール



講演「佐藤一斎の地平 ～その生涯と学問～」の様子

『言志四録』の内容に関わる講演と佐藤一斎の人間像に迫る講演であった。2つの講演を聴いた参加者は、「全く違った視点の講演で、両方のお話をお聴きすることでとても分かりやすかったです。」と佐藤一斎やその教えについて理解を深めることができたようであった。

5 博物館同人としての登録

2団体及び6名に同人登録証を発行した。

6 平成21年度の出展申し込み

山野草の鉢植え、イスラムの陶器、本物そっくりの木彫、布絵、わら細工、バードカービング、イラスト画、陶板等の生涯学習の成果としての作品、また、中国翡翠の彫刻、アニメグッズ、そば猪口、老師の書と茶道具、世界の民芸品、ガラス瓶、書画等、計15件の申し込みがあった。コレクションと作品のバランスもよく、様々な年代の来場者に楽しんでもらえそうな内容であった。

7 マイミュージアムギャラリー企画運営委員会

○日時 平成21年10月30日(金) 10時～11時30分

○場所 本館会議室

【議題】

(1) これまでの展示の経過と課題について

- ・体験教室や実演などは、来場者からも好評である。第2回の志野焼の展示は、地味であるがこのような伝統文化、特に岐阜県に関する内容の展示こそ委員会としては大切にしていきたい。

(2) 平成22年度展示計画及び今後の課題について

- ・体験や実演ができるものは、それぞれの展示内容のよさに触れることができるのでよい。
- ・わら細工など、引き継がれてきている文化に関するものは、体験も含めて候補としていく価値はある。
- ・現在、ガラス製品は若い世代からも注目されつつある。時代の流行や世の中の要望という観点から有意義な展示内容にしていきたい。
- ・展示内容のバランスはもちろんだが、県の博物館であるので、地域のバランスも考慮していく必要がある。

○委員の構成

	氏名	役職
委員	石川 道政	岐阜県市長会代表
〃	岩田 仲雄	会社会長
〃	上野美代子	岐阜県地域女性団体協議会代表
〃	遠藤 俊三	関市教育長
〃	加藤 隆一	岐阜県公民館連合会長
〃	高屋 一行	前岐阜県博物館長
〃	中川 満也	岐阜県町村会代表
〃	蓮見 茂夫	岐阜県社会教育委員連絡協議会長
〃	平岩 正光	岐阜県議会教育警察委員会委員長
〃	吉田 豊	岐阜県芸術文化会議会長
〃	若宮 多門	岐阜県博物館協会会長

会長は吉田豊氏、副会長は若宮多門氏が就任。

〔調査研究・資料収集活動〕

— 人文部門 —

1 調査研究

<考古分野>

(1) 資料紹介展などにかかわる調査研究

平成21年度の資料紹介展「長良川のある暮らし～遺跡は語る～」にかかわる調査研究を行った。長良川流域の遺跡を中心に調査し、地域の文化や川と暮らしのかかわりを物語る資料を選定し、展示を構成した。

館蔵資料の紹介という観点から、昭和52・53年に長良大橋付近の河川敷で採集された資料について整理作業を行った。古墳時代前期から近代・近世までの資料が大コンテナで20箱ほどある。これらを洗浄し、未注記の資料に注記した。また、出土地区毎に分けて（原位置の保持は望めないことから右岸・左岸程度の大まかな枠で）、土地利用の変遷をみようと考えたが、資料数が多く展示までにデータ化するには至らなかった。

平成22年度に行う岐阜県文化財保護センター発掘速報展、常設展での展示資料についても調査を行った。

(2) 下呂石にかかわる調査研究など

県民とともに行う研究活動として、下呂石の会を発足させた。下呂石原産地の踏査、プレパラート作成、石器製作実験など8回の活動を行った。

他にも、岐阜県及び東海の先史時代について調査研究を行っている。今年度発表したレポートとしては「東海西部地域の細石刃石器群」『旧石器考古学』73 旧石器文化談話会、「下呂石は北へ南へ」『越中と美濃を結ぶ考古展』展示図録 岐阜市歴史博物館などがある。

<歴史分野>

(1) 平成21年度資料紹介展「ラジオ少年の見た夢

～真空管から新幹線へ～」にかかわる調査研究

岐阜市在住の小林巖氏が当館に寄贈された資料や同氏所蔵の資料の中から、真空管時代の無線機、ラジオ、電蓄などの受信・音響機器、同氏が国鉄時代に携わった東海道新幹線に関連する資料など、電気・電波関係のコレクションを中心に展示をおこなった。

理科離れ、科学離れといわれる今日、身近なところで暮らしを支えてきた科学技術の歩みとともに、昭和といった時代に目を向ける機会とすることに努めた。

(2) 寄贈資料・館蔵資料にかかわる調査・研究

寄贈された資料の整理と調査研究を進めている。館蔵資料の確認をしつつ、その掘り起こしに努めた。今後の展示活動に資することができるよう心がけたい。

<民俗分野>

(1) 平成21年度特別展「人、和して楽しむ～岐阜の文楽～」 にかかわる調査研究

特別展にかかわる調査研究を行い、展示に反映させた。展示の方法についても、文楽に関する展示例の調査を特別展開催直前ま

で行った。多様な来館者に岐阜県の文楽についてわかりやすく理解される構成および内容に心がけた。また、関係者・関係機関のみなさんの多大な協力を得ることができ、各保存会による「文楽教室」を5回開催することができた。この展覧会を開催することで、多くの方が文楽について身近に感じることができ、また地域で伝承されてきた伝統文化を未来へ継げる一助になったと確信している。

(2) 寄贈資料・館蔵資料にかかわる調査研究

民俗では、人文展示室1「郷土の百年」、人文展示室2、4階休憩ラウンジにある「昭和の居間」などを主な展示スペースとしている。人文展示室2では、獅子頭や能面、文楽人形など岐阜県の民俗芸能にかかわる資料を展示した。昭和の居間では、季節に関連した資料を中心に定期的特集展示として展示替えをした。年間を通じて館蔵資料とその活用について調査研究を行うとともに、少なかったが、新規の寄贈資料についても積極的に調査を行った。

<美術工芸分野>

(1) 岐阜県の仏教美術にかかわる調査研究

平成21年度は、仏教彫刻・絵画の現地調査・指導に5か所参加した。いずれも国や県・市・町が関与したものである。専門家の目が届いていない文化財が、岐阜県にはまだ多く遺されているようである。今後も県内の文化財の状況を把握し、調査研究に努めたい。

当館の教育普及活動に関する調査研究も行った。講座「岐阜のほとけたち」平成21年度版を4回の連続講座とした。内訳は講演3回、見学会1回である。

3回の講演に対して共通の主題を「地域ごとに仏像を考える」と設定した。そして、岐阜県を5地域（西濃・岐阜・中濃・東濃・飛騨）に分けて調査研究を行った。各地域の仏像について考察し、それぞれの地域の特徴を探究した。最後には岐阜県の仏像についての総括も行った。この成果を3回の講演で示した。

見学会の拝観先である願興寺の仏像についても、調査研究を行った。その成果により、受講者が見学会の予習をする機会を講演に設けた。見学会においては、現地で寺院から講話を聞き、実際に仏像を拝観するとともに、現地解説を行った。

(2) 岐阜県のやきものにかかわる調査研究

当館は、平成20年度に資料紹介展「岐阜県のやきもの」を開催した。しかし、この展覧会の図録は発行されていない。そこで、『岐阜県博物館調査研究報告』第31号に研究報告書「岐阜県のやきもの ― 資料紹介展「岐阜県のやきもの」出品作品を中心として ―」（上）を執筆し、掲載した。

執筆に当たり、本資料紹介展の成果を継承し、さらに調査研究を重ねた。そして、この報告書において、出品作品について個別に解説をし、データ・写真とともに紹介した。これを中心としながら岐阜県のやきものについて概観した。下篇は第32号に掲載予定である。

2 資料数一覧

(平成22年3月31日現在)

分野	館 蔵				借 用	寄 託	総 計
	実 物	複 製	自作・他	館蔵計(内寄贈数)			
考 古	5,595	164	52	5,811(5,399)	354	656	6,821
歴 史	4,321	34	122	4,477(4,171)	48	178	4,703
民 俗	9,366	1	0	9,367(7,059)	239	114	9,720
美術工芸	1,588	17	0	1,605(1,083)	95	1,327	3,027
計	20,870	216	174	21,260(17,712)	7236	2,275	24,271

3 寄贈資料一覧 (平成22年3月31日現在)

資 料 名	点数
浅草公園 花やしき 西洋あやつり 山がら奇芸	1
歌川芳村 「東京名所之内金龍山浅草寺真景」	1
合 計	2

4 購入資料一覧 (平成22年3月31日現在)

購 入 資 料	点数
二代歌川国輝 「鬼面山と不知火の取組」	1



歌川芳村「東京名所之内金龍山浅草寺真景」

－自然部門－

1 調査研究

<動物分野>

(1) モニタリングサイト1000里地調査（動物）

環境省のモニタリング1000里地調査に参加し、中・大型哺乳類、鳥類、チョウ、植物について調査し、延べ386名が調査に参加した。中・大型哺乳類は延べ423日調査し、531枚の写真を撮影した。今年度は、8種類の哺乳類を確認した。鳥類は繁殖期と越冬期にそれぞれ6回調査し、繁殖期に27種347個体、越冬期に33種667個体の鳥類を確認した。チョウは4月から11月上旬にかけて15回調査し、34種703個体のチョウ類を確認した。これらの調査結果は「百年公園の自然を調べよう（調査結果報告会）」で発表した。

(2) 骨格標本の作製 ダチョウ組の活動

4月から25回（2月12日現在）、延べ127人が活動に参加し、クマタカ、キツネ、テン、ヌートリアなどの毛皮や骨格標本を作製した。

(3) 動物採集家折居彪二郎の日記に関わる調査

齊藤郁子氏（沖縄公文書館）と共同で、折居彪二郎が1926年にロシア連邦サハリン州（旧樺太）を調査した際に記した日記の文字起こしを行い、後半部分を当館の研究報告で発表した。

(4) 「ウシモツゴを守る会」での調査・保全活動

当館では、県絶滅危惧種Ⅰ類のウシモツゴの保全の取り組みを、2005年から地元の保護団体や県河川環境研究所、美濃市、関市、アクア・ト岐阜などとともに「ウシモツゴを守る会」を結成して活動に参加している。

今年度は、ウシモツゴの飼育増殖と館内で展示して普及啓発を行う一方、ウシモツゴについて学習している小学校への出前授業やビオ・トープの造成に協力した。

(5) 外部機関と連携した特別展の資料収集

平成22年度特別展「川ーカワ・イイねー ～流れがつくり出す自然～」のための資料収集として、JST（行政法人科学技術振興機構）助成事業（「自河自賛プロジェクト」）において、県民と協働して調査や資料収集を行った。また、県内の小中学校15校でカワゲラウォッチング等の出前授業を行った。

<植物分野>

(1) モニタリングサイト1000里地調査（植物相）

今年度より百年公園で植物相調査を始めた。調査は、毎月第3水曜日の「里山ウォッチング」の時に参加者とともにいった。毎月20～30名の参加者があり、花・果実が確認された植物（イネ科・カヤツリグサ科・シダを除く）が1月の時点で、223種確認された。

(2) 乗鞍岳植物分布調査

岐阜県植物誌調査会と北アルプスの高山植物調査をはじめて5年目である。本年度は乗鞍岳の亜高山帯と高山

帯の植物分布調査を行った。本県で初確認となるチシマゼキショウやミヤマチドリのほか、計166種の植物を標本として採取した。

(3) 稀少野生生物調査

岐阜県の指定稀少野生生物の調査を実施。ミノコバイモとセッコク、ウチョウランの生育地を確認した。



チシマゼキショウ

<地学分野>

(1) 県内河川の岩石調査

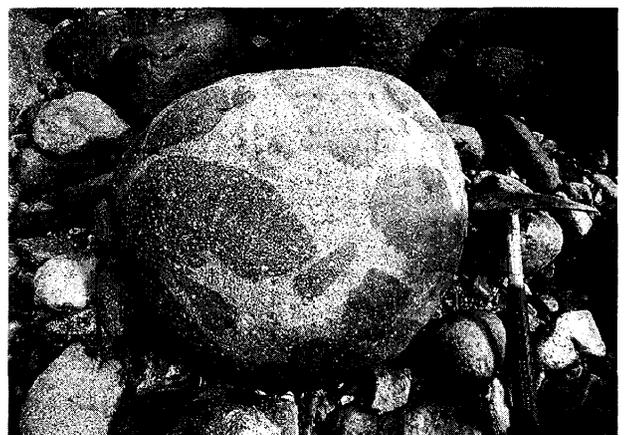
平成22年度の特別展に向けて、「川原の石を調べれば地域の地質が見えてくる」をテーマに、県内8水系の河川流域の岩石調査を実施した。調査収集した資料は、周辺地域の地質概要とともに展示資料として利用する。

(2) 皆既日食観測（奄美大島）

7月22日、46年ぶりに国内で観測できる皆既日食を鹿児島県奄美大島にて観測した。観測には全国の約200名の中高校生を引率し、その観測指導も行った。

(3) 環境学習プログラムの研究

星槎大学共生科学部環境研究会の下野 洋氏を代表とする「環境学習プログラムの研究開発」を平成19年度から3年間継続研究した。研究の目的は、「自然体験を通して身近な自然のパターンを把握することにより、児童生徒の科学的表現力を高めるとともに人間と自然との共生の大切さを考えさせる環境学習プログラムを作成すること」であり、今年度はその成果を報告した。



滝谷花崗閃緑岩の転石（高原川上流）

2 資料数一覧

(平成22年3月31日現在)

分野	館 蔵				借 用	寄 託	総 計
	実 物	複 製	自作・その他	館蔵計(内寄贈数)			
動 物	34,761	21	132	34,914 (19,265)	0	0	34,914
植 物	24,697	86	190	24,973 (11,062)	0	0	24,973
岩石鉱物	2,203	5	73	2,281 (579)	2	0	2,283
化 石	2,012	70	24	2,106 (1,087)	27	27	2,160
そ の 他	63	22	172	257 (21)	0	0	257
計	63,736	204	591	64,531 (32,014)	29	27	64,587

3 寄贈資料一覧

(平成22年3月31日現在)

資料名	点数	資料名	点数	資料名	点数
神岡鉱山鉱石	30	微小化石入石灰岩(赤坂産)	100kg	動物標本	46
菌類標本	1	昆虫標本	4139	蝶類標本	37
金生山化石	2				

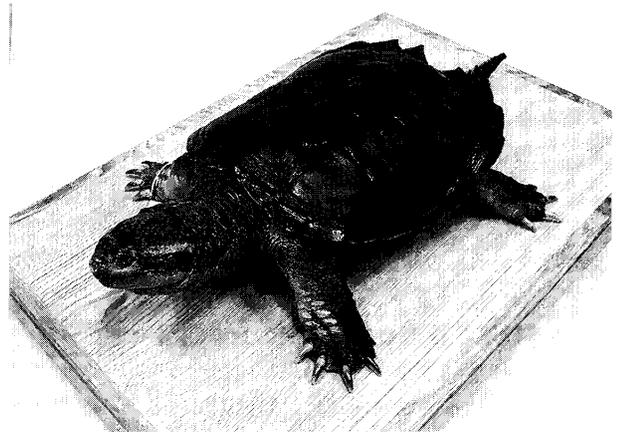
4 購入・委託作成資料一覧

(平成22年3月31日現在)

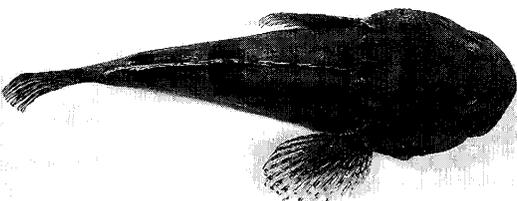
資料名	点数	購入先	資料名	点数	購入先
脊椎動物はく製・骨格標本	25	(株)東京内田科学社	化石標本	7	小野輝雄氏
魚類含浸標本	4	(株)吉田生物研究所	衛星画像床敷きマップ	1	(財)日本宇宙フォーラム



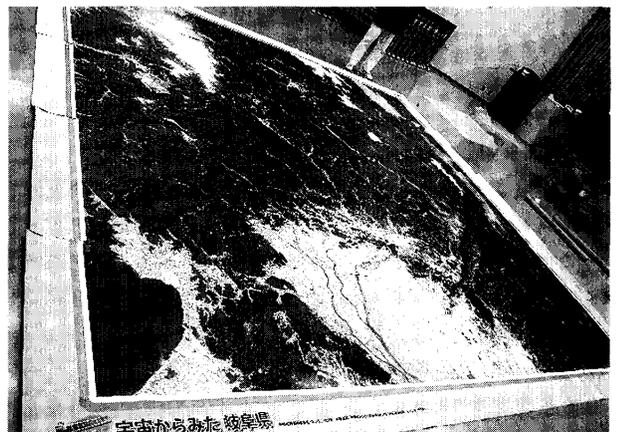
マミジロはく製



カミツキガメはく製



アユカケ含浸標本



衛星画像床敷きマップ

ーマイ・ミュージアム部門ー

マイミュージアム棟が開設された平成7年頃はマルチメディアが珍しい時代であったが、現在は一般のパソコン上で動画を編集することさえ特別ではなくなり、マルチメディアの普及や啓発を継続する意義は薄れてきた。他方、昨今の財政難により、機器の更新はもちろん、老朽化した既設機器の維持管理さえ極めて困難な状況となり、稼働している機器を休停止せざるをえなくなった。

しかし、博物館事業において情報通信機器を活用する必要性が失われた訳ではなく、今年度は、情報化が不可欠な分野における機能低下を最小限に食い止めることに重点を置いて事業を推進した。

1 岐阜県博物館ホームページの運用と改修

紙媒体による広報の縮小傾向を補う手段として、ホームページの充実や活用は非常に重要な位置を占める。そのような認識から、当館では平成9年9月の「岐阜県博物館ホームページ」開設以後、大規模リニューアルや追加改修を重ね、機能の充実に努めてきた。そして、デジタル資料のダウンロード機能やWEBニュース配信機能等を活用し、利用者に対する情報提供を拡充してきた。

様々な取組のうち、今年度最も有効に機能したのは団体受付機能であり、新型インフルエンザによる急な利用日変更により学校と当館の双方が機動的かつ円滑に対処でき、充実した学習プログラムの提供を実現できたのは、この機能によるところが大きい。

しかし、平成22年度にむけてWEBサーバの更新が困難になったことから、今年度は新しい環境（共用型レンタルサーバ）への移行業務が中心となり、最低限の費用で最大限の機能を維持することが課題となった。そして、種々の検討を重ねた結果、ブログ機能等の活用により、これまで実現してきた機能の喪失や低下を最小限に食い止めることのできる見通しが立った。

なお、今回の移行に伴い、岐阜県博物館ホームページのドメインを変更する必要性に迫られ、新しい環境においては下記のURLで運用することになった。

<http://www.gifu-kenpaku.jp/>

2 収蔵資料データベースの移行

当館に収蔵されている資料に関する情報の多くは電子化され、ホームページ公開にむけた膨大な準備を地道にすすめてきたところである。しかし、ホームページと同様の事情により、専用サーバを館内で維持することが困難となり、今年度はデータベース自体の存続をはかることが緊急かつ重要な課題となった。

幸い、全国の博物館や美術館でサーバを共有するサービスに移行することが可能となり、収蔵資料情報を電子的に管理する基盤を維持するとともに、将来的なホーム

ページ公開の可能性を残すことができた。

3 ハイビジョンホールの活用

ハイビジョンホールでは、休日や祝祭日に、特別展等に関連するDVD作品の上映を行った。また、外部団体の見学や各種講演会・講習会・イベントなどの会場として利用を図った。

4 準デジタル・アーキビスト資格取得2日間講座

「デジタル・アーキビスト」とは、文化資料等のデジタル化についての知識と技能を持ち合わせ、文化活動の基礎としての著作権・プライバシーを理解し、総合的な文化情報の収集・管理・保護・活用・創造を担当できる専門家のことで、インターネットの普及や著作権意識の高揚が進み、そのような知識や技能の必要性は博物館にとっても年々高まりつつある。そのため当館では、文部科学省から「社会人の学び直しニーズ対応教育推進事業『社会人のためのデジタル・アーキビスト教育プログラム』」（平成19～21年度）の選定を受けた岐阜女子大学と共催し、当館を会場とする「準デジタル・アーキビスト資格取得2日間講座」を1月16～17日に開催した。

今年度の講座には全国から41名の参加者があり、この資格に対する潜在的なニーズの高さを実感した。なお、3ヶ年の事業期間が終了し、岐阜女子大学との共催で当館を会場に開催する講座は今回で一区切りとなる。今後は、資格取得者の意欲や能力を岐阜県の文化振興につなげられるように努力することが課題となる。



準デジタル・アーキビスト資格取得2日間講座の様子

〔教育普及活動〕

1 概要

近年、博物館をはじめとする教育文化施設は厳しい運営状況にあり、その存在意義が問われている。そこで、平成20年度より将来構想委員会を設置し、長期的視野から県立総合博物館としての役割とあるべき未来像を明確にし、歩みはじめた。

従来、博物館における最大の教育普及活動は展示であったが、近年、生涯学習の充実や体験活動の重視といった社会の要請、また、将来構想委員会で明らかにした当館の役割、「岐阜県民が実物や実体験を通して、郷土の価値を発見できるようにする。」から、展示はもとよりそれ以外の教育普及活動の充実を重点課題とした。

当館の入館者は、子どもから高齢者まで、団体は幼稚園から大学までの学校団体、子ども会やスポーツ少年団から老人会までと、幅広い層に利用されている。そのため、それぞれの入館者に充実した体験や学習の場を提供できるように、プログラムの改善や開発を行ってきた。また、団体利用においては、事前打ち合わせの充実を図った。具体的には、当館利用の目的や要望を聞き、その目的が十分達成できるような活動内容の紹介や準備、当日の活動のサポートを行った。

一方、本年度の主な事業としては、特別展（1回）、資料紹介展（4回）、第30回日本自然科学写真協会写真展（1回）、地域文化芸術振興プラン推進事業（1回）、春休み展示（1回）、マイミュージアムギャラリー展示（7回）のほか、年間103回の催しものを実施し、総事業数は118回を数えた。

2 教育活動

(1) 催しもの

催しものは、企画展関連事業（12回）、カルチャー講座（28回）、たのしい博物館（35回）、ギャラリー関連事業（20回）、特別行事（4回）、博物館講座（4回）の計103回であった。

企画展関連事業の「文楽教室」は、それぞれの地域で活動している保存会の方々による人形浄瑠璃等の公演を5回にわたって行った。本物の人形浄瑠璃等を観覧できるといって毎回大盛況であった。

カルチャー講座では、「古文書入門」、「ほ乳類の写真を撮ろう」、「岐阜のほとけたち」など、従来の手軽な内容から専門的な内容に踏み込んだ講座を開設し、連続講座とした。多くの参加者は、深くじっくり学習できるスタイルに満足していたようであった。

たのしい博物館では、「家族で春の里山ウォッチング」など家族参加型の催しものを増設した。多くの家族が参加し、目にした植物や生き物について親子で教え合うなど、家族で楽しそうに活動する姿が見られた。

特別行事の「里山オリエンテーリング」や「七草がゆを食べよう」は恒例の催しものとして位置付き、多くのリピーターが参加した。

(2) 入館者対応

毎週土曜日・日曜日と祝日の午後には、わくわく体験コーナーを開設し、体験活動を通して、職員が来館者と直接触れ合うようにした。再来館した来館者と職員が親しげに話をする姿が見られるなど、来館者と職員の距離を縮めることができた。

学校などの団体に対しては、下見を含めて事前の打ち合わせを入念に行い、活動の目的によって活動内容の提案やアドバイスなどを行った。また、サポーターの協力を得ながら、団体の多様な要望に応えられるような学習活動を工夫したことで、子どもたちが生き生きと活動する姿が見られた。

(3) 学校、福祉施設などの活用

団体利用は、151団体で、幼稚園・保育園（15）、小学校（92）、中学校（9）、高校（6）、大学（3）、福祉施設（3）、その他（23）であった。

地域別の利用状況は、下記のようになる。

美濃地区	37.7%	岐阜地区	25.8%
愛知県	21.9%	加茂地区	6.6%
西濃地区	6.6%	その他	1.4%

美濃地区の利用は関市が圧倒的に多く、美濃市の利用は少ない。学年別では、幼稚園・保育園と小学校低学年がほとんどで、高学年以上の利用は少ない。今年度から館内での昼食が可能になり、利用団体からは好評を得ている。

(4) 研修会などの活用

学校関係を中心にして、9団体であった。

(5) 出前授業・講師派遣などの活用

出前授業の実施回数は28回（小学校24回、中学校2回、高校1回、特別支援学校1回）であった。

講師に招聘されたのは15回であった。招聘先としては各種団体を中心であった。

職員研修、地域学習、生涯学習の場として、様々な目的に活用されている。

3 広報活動

来館者の増加と館の動向や情報を広く知らしめるため、以下のように広報活動の充実を図った。

- ・近隣のショッピングモールなどポスター・チラシの掲示・布置の依頼を積極的に行った。
- ・新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などのマスコミに対して、記者との直接的な情報交流、フリーペーパー掲載の開拓など、情報提供を積極的に行った。

4 博物館実習生指導

7月27日（月）から7月31日（金）までの5日間、岐阜聖徳学園大学（2名）・岐阜女子大学（4名）・岐阜大学（6名）・滋賀県立大学（3名）・名城大学（1名）・福岡大学（1名）・鹿児島大学（1名）・八洲学園大学（1名）の8大学から19名の学生を受け入れ、実習生指導を学芸部職員全員で行った。共通実習と選択分野別実習により、実習生が充実した活動を行うことができるよう工夫した。

5 資料の貸し出し

分野	機関名	資料名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数	
人	名古屋城特別展準備委員会	中林竹洞「青緑山水図」他	平成21年 4月 1日	平成21年 5月 6日	2	
	(株)明成社	浜斎英泉「岐路路ノ駅 河渡 長柄川鶴飼船」 デジタル画像	平成21年 5月 8日	平成21年 9月15日	1	
	郡上市立三城小学校	火おこし器	平成21年 6月21日	平成21年 7月 5日	12	
	富山市立佐藤記念美術館	芥見町屋遺跡出土弥生土器・砥石	平成21年 7月 1日	平成21年 9月 6日	9	
	美濃加茂市民ミュージアム	下呂市萩原出土上呂1号銅鐸ほか	平成21年 7月13日	平成21年 9月11日	3	
	岐阜県現代陶芸美術館	加藤孝造「鉄軸鉢」	平成21年 7月22日	平成22年 3月31日	1	
	岐阜市歴史博物館	芥見町屋遺跡出土弥生土器・砥石	平成21年 9月 7日	平成21年12月17日	9	
	西谷白山神社	田空 西谷白山神社弘法大師坐像 他	平成21年 9月22日	平成21年 9月24日	3	
	個人	文楽人形 お染	平成21年10月 5日	平成21年10月 5日	1	
	美濃市教育委員会	美濃加茂市道上遺跡出土弥生土器	平成21年10月 6日	平成21年10月16日	6	
	個人	刀 銘 濃州清水住寿命 プリント	平成21年10月 8日	平成22年 4月 1日	3	
	愛荘町教育委員会	椿椿山「山海奇勝図」 ポジ	平成21年10月15日	平成21年11月15日	14	
	(株)テレバック	中山道御下向御休泊御本陣附	平成21年10月23日	平成21年10月31日	1	
	(株)朝日新聞出版	横蔵寺大日如来坐像 ポジ	平成21年10月30日	平成22年 1月19日	1	
	(株)洛思社	斎藤道三画像	平成21年11月 1日	平成21年11月30日	1	
	個人	岐阜市日野諏訪神社所蔵木造獅子頭	平成21年12月 1日	平成22年 3月30日	1	
	(財)大正琴協会	大正琴	平成21年12月18日	平成21年12月18日	1	
	岐阜県小学校社会科研究会	美濃国分寺の模型の写真	平成21年12月19日	平成21年12月19日	1	
	NHK出版	中山道御下向御休泊御本陣附	平成22年 1月10日	平成22年 1月30日	1	
	中部ケーブルネットワーク(株)養老局	刀 無銘 直江志津 デジタル画像	平成22年 1月16日	平成22年 1月31日	1	
	岐阜県小学校社会科研究会	美濃国分寺の模型の写真	平成21年 4月 1日	平成21年 4月 1日	1	
	(財)大正琴協会	大正琴	平成21年 4月30日	平成21年 4月30日	1	
	文	美濃加茂市立東中学校	肉食性・草食性哺乳類頭骨	平成21年 4月20日	平成21年 4月25日	14
		関市立洞戸中学校	肉食性・草食性・雑食性哺乳類頭骨	平成21年 4月24日	平成21年 5月 7日	15
		河川環境楽園 自然発見館 NPO法人生態教育センター	鳥類はく製(ウグイス、カワセミ、キジ、アオサギ等)	平成21年 4月30日	平成21年 5月 8日	47
		岐阜市立陽南中学校	オオカミ頭骨・ライオン頭骨レプリカ	平成21年 4月30日	平成21年 5月 9日	2
		関市立緑が丘中学校	肉食・草食動物の頭骨	平成21年 5月 1日	平成21年 5月15日	14
		中山道みたけ館	昆虫・化石	平成21年 5月 1日	平成21年 8月16日	36
		中山道みたけ館	昆虫・化石の画像	平成21年 5月 1日	平成21年 5月16日	16
		大野町立大野中学校	三葉虫化石等	平成21年 5月 7日	平成21年 5月14日	28
		多治見市立笠原中学校	肉食・草食性哺乳類頭骨	平成21年 5月12日	平成21年 5月17日	10
		関市立洞戸中学校	動物の標本	平成21年 5月26日	平成21年 6月 2日	39
		(株)弘旬館『みどりの風』編集部	モリアオガエル	平成21年 6月 1日	平成21年 8月31日	2
		県立城北高等学校	三葉虫化石等	平成21年 6月25日	平成21年 7月10日	89
中山道みたけ館		へぼの写真	平成21年 6月27日	平成21年 8月16日	1	
エコミュージアム関ヶ原		昆虫標本箱	平成21年 7月 1日	平成21年 9月30日	9	
(株)企画集団 創		アオサギ上腕骨	平成21年 7月 1日	平成21年 7月11日	1	
各務原市立稲羽中学校		ネコ・ウサギ等の頭骨	平成21年 7月 3日	平成21年 7月 8日	14	
中津川鉱物博物館		剥製	平成21年 7月 3日	平成21年12月 4日	3	
ハートピア安八		宝石鉱物	平成21年 7月 8日	平成21年 8月 4日	56	
(株)クリエイティブ・ジョーズ		ウシガエルの写真	平成21年 7月21日	平成21年 8月 5日	1	
岐阜市少年自然の家		剥製	平成21年 8月 1日	平成22年 1月31日	10	
瑞浪市立瑞浪小学校		ウサギの骨格標本	平成21年 8月30日	平成21年 9月13日	1	
大山市立大山中学校		動物はく製標本	平成21年 9月 1日	平成21年 9月10日	13	
県立岐山高等学校		三葉虫のシリコン型等	平成21年 9月 1日	平成21年 9月 4日	13	
エコミュージアム関ヶ原		鳥類はく製標本	平成21年 9月12日	平成21年12月28日	6	
(株)サイエンスワークス		フクロウの写真	平成21年 9月15日	平成21年10月17日	1	
岐阜県世界淡水魚園水族館		はく製標本・植物レプリカ	平成21年 9月18日	平成21年12月17日	10	
名古屋港水族館		日本モモンガ、フクロウモモンガの骨格標本	平成21年10月 2日	平成21年11月26日	2	
岐阜市立長良西小学校		三葉虫化石等	平成21年10月14日	平成21年10月23日	55	
県立岐山高等学校		三葉虫化石およびシリコン型等	平成21年10月15日	平成21年10月19日	30	
(有)ハマユ		骨格標本の写真	平成21年10月30日	平成21年11月30日	22	
羽島市立竹鼻中学校		肉食哺乳類頭骨・草食哺乳類頭骨	平成21年11月15日	平成21年11月28日	20	
大日本図書株式会社		今村式強震計の写真	平成21年12月 2日	平成22年 1月31日	1	
愛知工業大学付属中学校		三葉虫化石およびシリコン型等	平成21年12月 7日	平成21年12月16日	84	
(有)ハマユ		全身骨格写真	平成22年 1月23日	平成22年 2月 5日	3	
岐阜市少年自然の家	鳥類標本	平成22年 2月 1日	平成22年 8月31日	17		
岐阜市立長良小学校	動物骨格標本	平成22年 2月 8日	平成22年 2月12日	3		
(有)オフィスクリオ	岩石の画像	平成22年 2月14日	平成22年 3月15日	9		
(有)キャプストーン	全身骨格写真	平成22年 2月26日	平成22年 2月26日	6		
財団法人 岐阜県校長会館	オオサンショウウオ骨格標本画像	平成22年 3月 3日	平成22年 3月31日	2		
財団法人 日本モンキーセンター	ツキノワグマはく製標本	平成22年 3月20日	平成22年 9月30日	1		
揖斐特別支援学校	三葉虫化石およびシリコン型等	平成22年 3月13日	平成22年 3月20日	36		
大野町立大野中学校	三葉虫化石およびシリコン型等	平成22年 3月18日	平成22年 3月25日	24		
			合 計	844		

6 刊行物の発行

名 称	発行年月日	判、頁	部数
岐阜県博物館報第32号	21. 4. 1	A4 42頁	800
平成22年度岐阜県博物館催しもの案内 (掲示用)	22. 3. 31	B2	2,500
平成22年度岐阜県博物館催しもの案内 (携帯用)	22. 3. 31	A4 4ツ折	47,500
岐阜県博物館調査研究報告第31号	22. 3. 31	A4	700
【特別展等のポスター・リーフレット】			
人、和して楽しむ～岐阜の文楽～	ポスター	21. 9. 15	B2 2,800
人、和して楽しむ～岐阜の文楽～	リーフレット	21. 9. 15	A4 95,000
【資料紹介展・特別企画のポスター・リーフレット】			
養老のお坊さんが絵を描いた！～博物画と標本による江戸の生物～	ポスター	21. 4. 25	B2 800
養老のお坊さんが絵を描いた！～博物画と標本による江戸の生物～	リーフレット	21. 4. 25	A4 20,000
TORIDAS～それは鳥です～	ポスター	21. 6. 27	B2 800
TORIDAS～それは鳥です～	リーフレット	21. 6. 27	A4 20,000
ラジオ少年の見た夢～真空管から新幹線へ～	ポスター	21. 11. 17	B2 800
ラジオ少年の見た夢～真空管から新幹線へ～	リーフレット	21. 11. 17	A4 20,000
長良川のあるくらし～遺跡は語る～	ポスター	22. 1. 5	B2 800
長良川のあるくらし～遺跡は語る～	リーフレット	22. 1. 5	A4 20,000
第30回日本自然科学写真協会写真展－自然を楽しむ科学の眼－	ポスター	22. 2. 16	B2 800
第30回日本自然科学写真協会写真展－自然を楽しむ科学の眼－	リーフレット	22. 2. 16	A4 20,000
春休み特別企画～博物館で“春”みい～つけた！	ポスター	22. 3. 20	B2 800
春休み特別企画～博物館で“春”みい～つけた！	リーフレット	22. 3. 20	A4 20,000
【マイ・ミュージアム刊行物】			
マイ・コレクション第110号	21. 4. 1	A4 両面	1,000
マイ・コレクション第111号	21. 5. 24	A4 両面	1,000
マイ・コレクション第112号	21. 7. 12	A4 両面	1,000
マイ・コレクション第113号	21. 8. 23	A4 両面	1,000
マイ・コレクション第114号	21. 10. 11	A4 両面	1,000
マイ・コレクション第115号	21. 11. 29	A4 両面	1,000
マイ・コレクション第116号	22. 1. 31	A4 両面	1,000
マイミュージアムギャラリー	ポスター	22. 3. 7	B2 1,000
マイミュージアムギャラリー	リーフレット	22. 3. 7	A4 10,000
【地域文化芸術振興プラン推進事業】			
講演会「文楽への誘い～三大人形浄瑠璃から～」	リーフレット	22. 2. 27	B2 20,000
講演会「文楽への誘い～三大人形浄瑠璃から～」	図録	22. 2. 27	A4 1,500
【アウトリーチ事業】 科学技術振興機構 (JST) 地域の科学含推進事業			
自河自賛	ポスター	21. 5. 15	B2 1,000
自河自賛	リーフレット	21. 5. 15	A4 30,000

7 幼稚園・学校・福祉施設等の利用状況

※来館人数は引率者を含む

月・日	園・学校など	学年	来館人数	利用時間	主な活動内容
4/16	岐阜市・三輪北小	5,6	59	2.5	恐竜解説、自然・人文展示ビンゴ、体験学習 (水田・遺跡)
4/18	関市・警察学校初任科生研修 (春季研修)		107	3	マイミュージアムギャラリー・自然・人文展示室見学
4/22	岐阜市・岐阜本巣特別支援学校	高等部	45	1.5	恐竜解説、自由見学
4/24	岐阜市・三輪南小	5	106	1.5	恐竜解説、自然・人文展示ビンゴ
4/24	関市・関保育園	年長	33	1	恐竜解説、自由見学
4/30	清須市 (愛知)・新川小	5	94	1	恐竜解説、自由見学
5/ 8	養老町・養老町文化財保護協会	一般	20	1	資料紹介展見学
5/12	関市・桜ヶ丘小	2	96	2.5	自然展示ビンゴ、春みつけビンゴ
5/13	関市・武儀東小	1,2	30	1	春みつけビンゴ
5/13	一宮市 (愛知)・大徳小	3	85	2.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
5/14	関市・桜ヶ丘小	1	79	1.5	恐竜解説、自由見学
5/14	関市・倉知小	1	90	1	春みつけビンゴ
5/14	関市・武芸小	3	23	2.5	資料紹介展見学、自然展示ビンゴ、体験学習 (ギフチョウ)
5/15	関市・倉知小	2	75	1	春みつけビンゴ
5/19	一宮市 (愛知)・起小	4	106	1	春みつけビンゴ
5/19	岐阜市・社会福祉法人あしたの会 ふくろうの家	一般	26	1.5	自由見学
5/20	関市・富岡小	2	87	1	春みつけビンゴ
5/21	関市・金竜小	1	132	1	春みつけビンゴ
5/21	関市・武儀西小	3	10	4	グリーンアドベンチャー、体験学習 (昆虫)
5/21	関市・武儀東小	3	19	4	グリーンアドベンチャー、体験学習 (昆虫)
5/21	小牧市 (愛知)・小木小	5	71	1	自然展示ビンゴ
5/22	稲沢市 (愛知)・小正小	3	102	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
5/26	関市・金竜小	3	108	3.5	里山オリエンテーリング
5/26	稲沢市 (愛知)・丸甲小	1～6	142	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
5/27	関市・安桜小	3	95	4.5	グリーンアドベンチャー、体験学習 (昆虫)
5/29	関市・下有知小	2	86	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ

月・日	園・学校など	学年	来館人数	利用時間	主な活動内容
6/5	美濃市・ふたば幼稚園		42	2.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
6/5	一宮市(愛知)・一宮ソシアルクラブ	一般	22	2.5	恐竜解説、合掌づくり解説、自由見学
6/12	名古屋(愛知)・名古屋教育文化センター	年小	30	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
6/16	可児市・広陵中	2	74	4	学芸員の仕事(恐竜) 里山グリーンオリエンテーリング
6/23	関市・桜ヶ丘小 分級	1~6	17	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習(大地)
6/23	関市・富岡小	6	41	1	自由見学
6/28	養老町・上多度推進委員会	一般	29	1	資料紹介展見学
7/11	一宮市(愛知)・平安幼稚園	全園	137	2	恐竜解説、自由見学
7/15	大野町・大野小	5	93	1	恐竜解説、自分展示ビンゴ
7/17	関市・松浜幼稚園	年長	47	1	自然展示ビンゴ
7/18	名古屋市(愛知)・名城幼稚園	年長	17	1	自然展示ビンゴ
7/19	大府(愛知)・大府ワイルドボーイズ	3~6	41	1	自由見学
7/22	白川町・白川北地区公民館	一般	21	1	資料紹介展解説、自由見学
7/23	関ヶ原町・少年少女体験教室	3	106	1	自由見学
7/25	関市・中部学院大学		24	2	マイミュージアムギャラリー・資料紹介展・人文展示室見学
7/26	小牧市(愛知)・セイシン教育センター	1	81	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
8/1	江南市(愛知)・古南スポーツ少年団	1~6	89	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
8/2	小牧市(愛知)・セイシン教育センター	1	79	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
8/8	北名古屋(愛知)・青進学院	6	42	1	自由見学
8/9	岩倉市(愛知)・グレートブラザーズ	3~6	86	1	自由見学
8/18	岐南町・岐南中 科学部		14	4	体験学習(化石レプリカ)
9/4	岐阜市・合渡小	5	84	1.5	自由見学
9/16	関市・中部学院大学		7	4.5	特別展・マイミュージアムギャラリー・自然・人文展示室見学
10/2	関市・中部学院大学附属幼稚園	年長	73	1.5	恐竜解説、自由見学
10/6	関市・下有知小	3	86	3	自然展示ビンゴ、特別展見学、体験学習(学芸員の仕事)
10/6	大垣市・牧田小	1,2	50	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR
10/6	岐南町・西小	1	96	3.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR
10/6	稲沢市(愛知)・下津小	1	98	4	秋みつけビンゴ、恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/6	岐阜市・藍川中	2	3	6	職場体験(自然・普及)
10/7	岐阜市・合渡小	2	76	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR
10/7	岐阜市・芥見小	1	94	1	秋みつけビンゴ
10/7	可児市・旭小	2	126	1	自然展示ビンゴ
10/9	関市・武儀西小	1,2	15	2.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、秋みつけビンゴ
10/9	関市・武儀東小	1,2	27	2.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、秋みつけビンゴ
10/9	関市・田原小	2	79	1.5	秋みつけビンゴ、秋のクラフト(ドングリ笛)
10/9	岐阜市・長良東小	1	107	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、特別展見学、人文展示ビンゴ
10/9	稲沢市(愛知)・稲沢北小	3	60	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、特別展見学
10/12	新安市・JAあいち中央新安市支店	一般	63	1	自由見学
10/14	関市・田原小	1	67	1	秋みつけビンゴ
10/14	瑞穂市・西小	1	50	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/15	関市・洞戸小	1,2	36	1	秋みつけビンゴ
10/15	関市・富野小	1,2	35	1	自然展示ビンゴ
10/15	大口町(愛知)・大口南小	1	56	1.5	自然展示ビンゴ、恐竜VTR
10/15	江南市・古知野北小	2	76	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/16	関市・下有知小	1	83	2	秋みつけビンゴ、秋のクラフト(ドングリ笛)
10/16	笠松町・松枝小	2	130	4	秋みつけビンゴ、秋のクラフト
10/16	扶桑町(愛知)・高雄小	3	84	0.5	恐竜解説
10/16	大野町・富秋女性の会	一般	15	1	特別展見学、自由見学
10/20	各務原市・中央小	1	94	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
10/20	関市・武芸小	1	15	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/21	関市・南ヶ丘小	1,2	45	1.5	体験学習(3つの森)
10/21	岐阜市・岩野田北小	1	117	1	秋みつけビンゴ
10/21	岐阜市・藍川中(特別支援学級)	2	6	2.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR
10/22	一宮市(愛知)・葉栗小	3	118	2.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、特別展見学
10/22	犬山市(愛知)・羽黒小	2	114	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/23	各務原市・川島小	2	135	1.5	自然展示ビンゴ、人文展示ビンゴ、特別展見学
10/23	関市・旭ヶ丘小	1	69	1	秋みつけビンゴ
10/23	関市・旭ヶ丘小	2	80	2.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、秋のクラフト(ドングリ笛)
10/24	関市・警察学校初任科生研修		46	2.5	特別展・マイミュージアムギャラリー・自然・人文展示室見学
10/27	関市・博愛小	1,2	93	1	秋みつけビンゴ
10/27	関市・上之保小	1,2	25	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/27	瑞穂市・生津小	2	72	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/27	美濃市・中有知小 やまびこ学級	5,6	4	1	自然展示ビンゴ
10/27	岐阜市・ケアハウス ささゆり	一般	6	1	特別展見学、自由見学

月・日	園・学校など	学年	来館人数	利用時間	主な活動内容
10/28	岐阜市・西郷小	1	98	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/28	岐阜市・木之本小	3	41	2.5	体験学習（昭和のくらし）、特別展見学
10/28	一宮市（愛知）・三条小	2	159	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
10/28	関市・小金田中	2	4	6	職場体験（人文・自然・普及）
10/29	関市・瀬尻小	1	74	2	秋みつけビンゴ、秋のクラフト（ドングリ笛）
10/29	美濃市・牧谷小	2	20	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、秋みつけビンゴ
10/29	一宮市（愛知）・大志小	1,2	85	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/29	一宮市（愛知）・黒田小	2	119	1.5	自然展示ビンゴ
10/29	関市・小金田中	2	2	6	職場体験（人文・自然・普及）
10/30	関市・寺尾小	1~4	28	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
10/30	関市・瀬尻小	3	93	4	グリーンアドベンチャー、自然展示ビンゴ
10/30	岐阜市・則武小	1	73	1	自然展示ビンゴ、自由見学
10/30	関市・小金田中	2	5	6	職場体験（人文・自然・普及）
10/31	大垣市・大垣市少年少女発明クラブ	3	44	2	自由見学
11/ 4	関市・板取小	1,2	16	1	秋みつけビンゴ
11/ 4	岐南町・東小	1	104	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
11/ 4	羽島市・中島小	3	42	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
11/ 5	岐阜市・長良特別支援学校	高等部	19	1.5	自由見学
11/ 5	笠松町・下羽栗小	1,2	136	1	自然展示ビンゴ
11/ 6	岐阜市・網代小	1,2	35	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/ 6	羽島市・中央小	3	149	1	自然展示ビンゴ
11/ 6	犬山市（愛知）・犬山市小中学校PTA連合会	一般	22	1	特別展解説・見学、自由見学
11/10	美濃市・中有知小	1	32	2	秋みつけビンゴ、秋のクラフト（ドングリ笛）
11/10	扶桑町（愛知）・山名小	3	64	3.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR、特別展解説・見学
11/10	関市・中濃特別支援学校	高等部	1	7	職場体験（人文・自然・普及）
11/11	関市・安桜小	2	81	4	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR、特別展解説・見学、自由見学
11/11	関市・中濃特別支援学校	高等部	1	7	職場体験（人文・自然・普及）
11/12	関市・富岡小	1	81	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、
11/12	江南市（愛知）・古知野東小	2	114	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/12	関市・中濃特別支援学校	高等部	1	7	職場体験（人文・自然・普及）
11/13	富加町・富加小	1	59	4	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR、秋みつけビンゴ
11/13	関市・中濃特別支援学校	高等部	1	7	職場体験（人文・自然・普及）
11/14	養老町・養老町親子学習	3	51	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、特別展解説・見学、自由見学
11/17	岐阜市・鷺山小	1	83	4	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR、資料紹介見学、自由見学
11/17	瑞穂市・アジサイスクール		5	3.5	恐竜解説、恐竜VTR、体験学習（化石レプリカ）
11/18	岐阜市・常盤小	3	74	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/18	山県市・はなぞの北幼稚園	年長	33	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/20	神戸町・北小	3	50	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/20	関市・グループホーム チアフル	一般	12	1	自由見学
11/22	扶桑町（愛知）・花立コミュニティあるこう会	一般	23	1	自由見学
11/25	山県市・富岡小	2	72	1	恐竜解説、恐竜VTR
11/26	岐阜市・藍川小	1,2	106	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
11/27	北名古屋（愛知）・師勝北小	1,2	174	1.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ
12/ 2	御嵩町・伏見小	3	57	2.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、体験学習（昭和のくらし）
12/ 5	可児市・可児市総合型スポーツ文化クラブ	1~6	17	1	恐竜解説、体験学習（化石）
1/ 7	関市・小金田保育園	年長,中	77	1	体験学習（七草がゆ）
1/15	羽島市・正木小	3	193	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ
1/19	郡上市・北濃小		20	1	自由見学
1/21	川辺町・川辺西小	5	51	2	自然展示ビンゴ、人文ビンゴ、体験学習（遺跡）
1/27	垂井町・岩手小	4	21	2	人文展示解説・見学、体験学習（昭和のくらし）
1/30	岐阜市・岐阜大学教育学部理科教育研修会		23	7	博学連携研修
2/ 3	岐阜市・長良中	2	3	6	職場体験（自然・普及）
2/ 9	美濃加茂市・蜂屋保育園	年長	59	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR
2/12	関市・虹ヶ丘幼稚園	年長	88	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR
2/23	岐阜市・希望ヶ丘特別支援学校	中等部	5	4	恐竜解説、体験学習（化石レプリカ）、自由見学
2/25	美濃加茂市・太田第二保育園	年長	52	1	恐竜解説、自然展示ビンゴ、自由見学
3/ 4	岐阜市・岐阜幼稚園	年中	101	2	恐竜解説、自由見学
3/ 5	扶桑町（愛知）・扶桑幼稚園		56	3.5	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR、人文展示見学
3/ 7	御坊市（和歌山）・みのかも探検隊2010		30	3.5	恐竜解説、体験学習（文楽、糸からくり人形クラフト）、自由見学
3/10	多治見市・池田保育園	年長	22	3	恐竜解説、自然展示ビンゴ
3/11	美濃加茂市・加茂野保育園	年長	60	2	恐竜解説、自然展示ビンゴ、恐竜VTR、自由見学
合 計		151団体	9294		（来館者数には、減免者数を含む）

8 催しもの開催状況

事業名	期日	対象	定員	参加	内 容	
企画展 関連事業	4/25	一般	20名	雨天中止	ギフチョウ観察会	
	9/20	一般	50名	67	文楽教室	
	10/ 4	一般	50名	54	文楽教室	
	10/11	一般	50名	36	文楽教室	
	10/25	一般	50名	34	文楽教室	
	11/ 1	一般	130名	38	特別展講演会「美濃・飛騨 人形芝居の世界」	
	11/ 8	一般	50名	56	文楽教室	
	11/21	家族	20名	5	ラジオ少年講座 電気モーターをつくろう	
	11/23	一般	40名	42	講演会「ラジオ少年が夢見た新幹線～伝えたい、生かしたい、先人の知恵～」	
	11/28	家族	20名	14	ラジオ少年講座 電気モーターをつくろう	
	12/ 5	家族	20名	3	ラジオ少年講座 電気モーターをつくろう	
	12/12	家族	20名	12	ラジオ少年講座 電気モーターをつくろう	
カルチャー 講座	4/ 5	一般	なし	9	百年公園の自然を調べよう（植物調査説明会）	
	4/15	一般	なし	47	里山ウォッチング	
	5/10	一般	30名	21	古文書入門（1）	
	5/17	一般	20名	6	講演「博物館の裏話―学芸員の仕事について―」	
	5/20	一般	なし	37	里山ウォッチング	
	6/17	一般	なし	65	里山ウォッチング	
	7/15	一般	なし	40	里山ウォッチング	
	8/19	一般	なし	32	里山ウォッチング	
	9/ 6	一般	30名	25	古文書入門（2）	
	9/16	一般	なし	49	里山ウォッチング	
	10/21	一般	なし	29	里山ウォッチング	
	11/ 7	一般	20名	5	哺乳類の写真を撮ろう（1）第1日目	
	11/15	一般	20名	7	講座「岐阜のほとけたち」平成21年度版（1）講演	
	11/18	一般	なし	52	里山ウォッチング	
	12/16	一般	なし	43	里山ウォッチング	
	12/19	一般	20名	雪中止	哺乳類の写真を撮ろう（1）第2日目	
	1/10	一般	20名	2	哺乳類の写真を撮ろう（2）第1日目	
	1/11	一般	20名	15	講座「岐阜のほとけたち」平成21年度版（2）講演	
	1/16	一般	30名	41	社会人のための準デジタル・アーキビスト資格取得2日間講座第1日目	
	1/17	一般	30名	41	社会人のための準デジタル・アーキビスト資格取得2日間講座第2日目	
	1/20	一般	なし	51	里山ウォッチング	
	2/11	一般	20名	25	講座「岐阜のほとけたち」平成21年度版（3）講演	
	2/17	一般	なし	50	里山ウォッチング	
	2/28	一般	20名	9	哺乳類の写真を撮ろう（2）第2日目	
	3/14	一般	30名	18	古文書入門（3）	
	3/17	一般	なし	72	里山ウォッチング	
	3/21	一般	40名	16	百年公園の自然を調べよう（調査結果報告会）	
	3/22	一般	20名	16	講座「岐阜のほとけたち」平成21年度版（4）見学会	
	たのしい 博物館	4/19	家族	なし	45	家族で春の里山ウォッチング
		4/26	一般	20名	28	石をみがいてアクセサリーをつくろう
5/ 3		家族	40名	40	化石のレプリカをつくろう	
5/ 5		一般	30名	48	まが玉をつくろう	
5/24		家族	20名	22	春の小川で魚捕り	
6/ 7		一般	20名	19	化石をみがいてペーパーウェイトをつくろう	
6/14		一般	40名	45	楽しい折り紙教室	
6/20		家族	20名	18	家族で博物館探検	
6/21		家族	20名	21	魚の捕り方教えます ～ピオトープの魚調べ～	
7/ 5		一般	20名	6	植物標本の作り方教室第1日目	
7/12		一般	20名	6	植物標本の作り方教室第2日目	
7/19	家族	なし	12	家族で夏の里山ウォッチング		

事業名	期日	対象	定員	参加	内 容
たのしい 博物館	7/20	家族	20名	18	江戸時代のおもちゃをつくろう（紙つばめ）
	7/25	家族	40名	39	木の恐竜・動くおもちゃづくり
	7/26	家族	20名	20	家族で昆虫標本をつくろう
	8/ 1	家族	70名	62	家族でナイトウォッチング
	8/ 2	一般	30名	39	まが玉をつくろう
	8/ 8	一般	30名	22	土笛・土鈴をつくろう
	8/ 9	一般	20名	3	ニワトリの頭骨標本をつくろう
	8/15	家族	40名	27	化石のレプリカをつくろう
	8/16	家族	20名	24	江戸時代のおもちゃをつくろう（紙つばめ）
	8/23	家族	40名	29	化石のレプリカをつくろう
	9/23	家族	20名	22	家族で博物館探検
	10/12	一般	20名	24	木の実で遊ぼう
	10/18	一般	なし	29	家族で秋の里山ウォッチング
	11/22	一般	200名	254	徳山のくらしを体験しよう
	12/ 6	家族	50名	27	カブトムシの幼虫を探そう
	12/13	一般	40名	12	和風をつくろう（六角風）
	12/20	一般	40名	37	わら細工～しめ飾りをつくろう～
	1/ 6	一般	20名	20	春の七草ウォッチング
	1/24	一般	30名	36	まが玉をつくろう
	1/31	一般	20名	11	津保川のカモを数えよう
2/14	一般	40名	25	昭和のくらしを体験しよう	
2/21	家族	なし	34	家族で冬の里山ウォッチング	
3/20	家族	20名	13	家族で博物館探検	
ギャラリー 関連事業	4/12	一般	30名	60	ひょうたんの絵付け体験（墨流し）
	7/12	一般	なし	180	走る鉄道模型
	7/18	一般	なし	60	走る鉄道模型
	7/19	一般	なし	200	走る鉄道模型
	7/20	一般	なし	103	走る鉄道模型
	7/25	一般	なし	79	走る鉄道模型
	7/26	一般	なし	88	走る鉄道模型
	8/ 1	一般	なし	85	走る鉄道模型
	8/ 2	一般	なし	91	走る鉄道模型
	8/ 8	一般	なし	45	走る鉄道模型
	8/ 9	一般	なし	78	走る鉄道模型
	8/15	一般	なし	108	走る鉄道模型
	8/16	一般	なし	136	走る鉄道模型
	8/29	小・中学生	20名	14	石ころアートをつくろう
	8/30	小・中学生	20名	20	石ころアートをつくろう
	9/21	一般	20名	8	石ころアートで部屋を飾ろう
9/22	一般	20名	17	石ころアートで部屋を飾ろう	
11/ 3	一般	130名	63	講演会「大正・昭和の時代劇史」	
11/29	一般	130名	71	講演会「120分で聞く『言志四録』」～佐藤一斎没150年記念講演～	
1/16	一般	130名	85	講演会「佐藤一斎の地平～その生涯と学問」	
特別行事	5/ 4	一般	300名	145	春のグリーンアドベンチャー
	11/ 3	一般	300名	192	里山オリエンテーリング
	1/ 7	一般	200名	268	七草がゆを食べよう
	3/ 7	一般	130名	93	早春のコンサートinミュージアム～春の音楽を生演奏で～
博物館講座	6/ 4	教員	20名	5	石器づくり・火おこし体験のツボ
	6/ 5	教員	20名	9	五感を活用した自然観察の方法
	7/22	教員	20名	13	生活道具を教材にしよう
	1/28	教員	30名	4	化石レプリカの作成方法
合計				4,641	

9 出前授業

	期 日	用 務 先	対象児童等	人数	会 場	授 業 内 容
1	平成21年 5月28日	武儀東小学校	4年生	22	津保川	カワゲラウォッチング
2	平成21年 5月30日	木之本小学校	PTA	200	木之本小学校体育館	昔の遊びを体験しよう（日光写真と手作りプーメラン）
3	平成21年 6月 2日	日野小学校	6年生	80	日野の諏訪神社	日野の文化財（諏訪神社の獅子頭と校下の遺跡）
4	平成21年 6月 3日	牧谷小学校	5年生	24	板取川	カワゲラウォッチング
5	平成21年 6月18日	金竜小学校	4年生	116	津保川	カワゲラウォッチング
6	平成21年 6月19日	萩原北中学校	3年選択生徒	7	山之口川	カワゲラウォッチング
7	平成21年 6月30日	武儀西小学校	4年生	7	津保川	カワゲラウォッチング
8	平成21年 6月30日	三輪北小学校	歴史探検クラブ	6	三輪北小学校	石器づくり
9	平成21年 7月 1日	武芸小学校	3年生	20	武儀川	カワゲラウォッチング
10	平成21年 7月16日	三輪北小学校	1年生	22	石田川	水生生物の観察
11	平成21年 9月 9日	佐見小学校	5年生	16	佐見川	カワゲラウォッチング
12	平成21年 9月11日	安桜小学校付近	4年生	83	関川	カワゲラウォッチング
13	平成21年 9月25日	本巣特別支援学校	中等部生徒	23	校庭	植物観察
14	平成21年10月 1日	瀬尻小学校	5年生	30	中池自然の家	外来生物調査
15	平成21年10月 7日	瀬尻小学校	4年生	73	長良川	カワゲラウォッチング
16	平成21年10月14日	富野小学校	5年生	17	小野川	カワゲラウォッチング
17	平成21年10月16日	武儀中学校	1年生	27	津保川	カワゲラウォッチング
18	平成21年10月23日	桜ヶ丘小学校	4年生	75	校庭	植物・昆虫観察
19	平成21年10月31日	那加第二小学校	1年生～6年生	36	那加第二小学校	勾玉づくり
20	平成21年11月 7日	那加第一小学校	3年生～6年生	25	校内	化石レプリカ
21	平成21年11月25日	宮小学校	5年生	35	学校と宮川	川と人とのかかわり
22	平成21年11月26日	御嵩小学校	3年生	97	校内	地球温暖化と森林
23	平成21年12月 7日	大矢田小学校	4年生	15	校内	ウシモツゴが少なくなったわけ
24	平成21年12月16日	不破高校	3年生	30	不破高校	西濃の歴史
25	平成22年 1月20日	桜ヶ丘小学校	4年生	75	体育館	植物・昆虫観察のまとめの発表
26	平成22年 1月26日	瀬尻小学校	4年生	73	長良川	カワゲラウォッチング
27	平成22年 2月 6日	下有知小学校	3～6年生	25	校内	化石レプリカ・クリーニング
28	平成22年 2月25日	瀬尻小学校	4～5年生	30	長良川	カワゲラウォッチング

10 講師派遣

	期 日	用 務 先	対 象	人数	内 容
1	平成21年 5月11日	ふれあい会館職員研修所	岐阜県新規採用職員	104	岐阜県の文化と歴史
2	平成21年 7月11日	長良川河川敷(雄総地区)	長良川環境レンジャー	35	川と人とのかかわり
3	平成21年 7月20日	山田子ども会	児童・保護者	40	水生生物の観察・調査
4	平成21年 8月 1日	郡上田舎の学校	児童	50	天体観測会講師
5	平成21年 8月 8日	NPO法人長良・自然とくらし学校	児童・保護者	50	長良川の生き物調べ
6	平成21年 8月12日	岐阜土木事務所	県土木、建設業者	30	特定外来生物の除去について
7	平成21年 8月20日	山県市小理研	教員	10	神崎川周辺の地質巡検の講師
8	平成21年 8月21日	関市立武芸小学校	武芸小教職員	7	校庭の植物観察指導
9	平成21年 8月30日	NPO法人長良・自然とくらし学校	児童・保護者	40	揖斐川の生き物調べ
10	平成21年 9月 5日	関市中央公民館	一般	50	成人大学～長良川セミナー～
11	平成21年10月 3日	サイエンスワールド	小学校4年生以上	24	石器をつくろう
12	平成21年10月25日	中津川市環境政策課	一般	6	カワゲラウォッチング指導者研修会
13	平成21年11月 8日	岐阜県獣医師会	一般	50	岐阜県獣医師会学術研修会
14	平成21年12月25日	岐阜市	高齢者大学受講者	100	自分を高める博物館の利用について
15	平成22年 2月18日	揖斐川町	一般	80	外来魚が与える影響

11 自河自賛 科学技術振興機構（JST）地域の科学会推進事業 地域活動支援

	期 日	用 務 先	対 象	人数	内 容
1	平成21年 6月20日	日本最古の石博物館	神瀬川流域	23	水生生物による水質調査、地層・ホタル観察会
2	平成21年 6月27日	NPO法人洞戸ふるさと塾	板取川流域	23	水生生物による水質調査
3	平成21年 7月25日	中津川市子ども博物館	中津川・阿木川流域	44	水生生物による水質調査、川原の石の観察調査
4	平成21年 8月 3日	NPO法人長良川環境レンジャー協会	揖斐川流域	30	水生生物による水質調査、川原の石の観察調査
5	平成21年 9月26日	日本最古の石博物館・白川町	飛騨川流域	22	周辺地域の地質巡検
6	平成21年11月 7日	NPO法人洞戸ふるさと塾	板取川流域	25	川原の石の観察調査

12 図書資料

(平成22年3月31日現在)

	一般資料	郷土資料	児童書	博物館資料	合計
図書資料数	19,061	5,233	1,271	5,143	30,708

〔利用状況〕

1 入館者数

本年度は、入館者数45,625人で前年に比べて5,514人10.8%の減となった。これは、幾つかの要因が重なった結果ではあるが、今年新型インフルエンザの発生の影響で学校団体の利用が減ったことが、一番の要因としてあげられる。

開館日数は308日であり、1日平均の入館者数は148人で、1日あたりの入館者が最も多かった日は、館の無料開放日となる11月3日の文化の日で1,932人を数えた。

団体入館者数は、8,877人で、入館総数の約19.5%を占めており、月別では10月が3,313人で一番多く、団体入館者総数の37.3%を占めている。

特別展期間中の入館者数は下表のとおりである。入館者総数は、13,547人を数え1日平均は251人であった。

月	小中高生	大学生	一般	計	開館日数	一日平均
4	1,428	24	1,701	3,153	26	121
5	3,266	34	2,639	5,939	27	220
6	1,057	24	2,210	3,291	25	132
7	1,476	53	1,569	3,098	27	115
8	2,489	40	2,550	5,079	26	195
9	1,758	32	1,751	3,541	26	136
10	4,479	16	2,292	6,787	27	251
11	3,659	20	2,743	6,422	25	257
12	339	8	721	1,068	24	45
計	22,976	345	22,304	45,625	308	148

特別展名	期間	小中高生	大学生	一般	計
人、和して楽しむ～岐阜の文楽～	9/15～11/15	8,392	54	5,101	13,547

2 施設利用

今年度の講堂及び研修室等の主な利用者は、次のとおりであった。

<講堂利用>

4/18	岐阜県植物誌調査会	10/21	ダチョウ組(ダチョウの骨格標本製作グループ)
4/28	岐阜県博物館協会理事会	10/24	岐阜県植物誌調査会
5/1	博物館友の会理事会・総会	11/1	博学連携
5/9	サポーター研修会	11/14	岐阜県植物誌調査会
5/16	岐阜県植物誌調査会	12/19	岐阜県植物誌調査会
6/1	高等学校理科実験研究会	1/16～17	準デジタルアーキビスト資格取得2日間講座
6/12	岐阜県高等学校教育研究会公民地歴部会	1/23	岐阜県植物誌調査会
6/14	折り紙研修会	1/28	博物館活用講座
6/27	岐阜県植物誌調査会	1/30	岐阜大学教育学部博物館研修
7/18	岐阜県植物誌調査会	2/20	岐阜県植物誌調査会
8/4	美濃・可茂教育事務所初任者研修	2/25	岐阜県小学校社会科研究部会
8/20	山県市小学校理科部会	3/5	岐阜県博物館協会理事会
8/22	岐阜県植物誌調査会	3/13	岐阜県植物誌調査会
9/8	岐阜県高等学校長協会常任理事会	3/19	岐阜県博物館協会研修事業
9/19	岐阜県植物誌調査会		

<研修室利用>

4/15・26	ダチョウ組	8/22	サポーター研修
5/9・20・24	ダチョウ組	9/16	ダチョウ組
6/ 1	高等学校理科実験研究会	11/ 1	環境学習研究会
6/14・17	ダチョウ組	12/ 6	環境学習研究会
7/15・19	ダチョウ組	12/16・23	ダチョウ組
8/ 4	美濃・可茂教育事務所初任者研修	1/ 7・11	ダチョウ組
8/ 5	ダチョウ組	1/16～17	準デジタルアーキビスト資格取得2日間講座
8/ 9	菖蒲まつり写真コンテスト表彰式	1/21	ダチョウ組
8/19	ダチョウ組	2/10～11・27	ダチョウ組

<ハイビジョンホール利用>

5/29	岐阜県博物館協会総会・文化講演会
6/ 1	高等学校理科実験研究会
8/ 4	美濃・可茂教育事務所初任者研修
1/ 8	文化行政担当者会議
2/27	文化講演会（文化庁）「文楽への誘い～三大人形浄瑠璃から～」
3/19	岐阜県博物館協会研修事業

〔博物館関係団体〕

1 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和41年に設立された。

公開講座（年4回）、機関紙発行（年3回）、会員研修会（年2回）等の諸活動をくり広げ、設立の目的に沿うように努力した。

平成22年3月現在、会員館園は128名、個人会員は13名

主な役員は次のとおり。

会長…若宮多門、副会長…名和哲夫、古川秀昭、浅野裕司、榎本徹、西永勝己、事務局は岐阜県博物館内にある。

<主な事業>

4/15	協会監査
4/28	第1回理事会
5/29	岐阜県博物館協会通常総会
5/29	第4回県民文化講演会
6/19	地域博物館活性化委員会
6/26	機関紙委員会
7/24	東海地区博物館連絡協議会総会
7/26	第118回公開講座
8/31	機関紙「岐阜の博物館」第160号発行
9/12	第119回公開講座
9/13	第120回公開講座
10/1～2	全国博物館大会
10/11	第121回公開講座
11/19	東海三県博物館協会研究交流会
11/30	機関紙「岐阜の博物館」第161号発行
1/22	第72回会員研修会
3/ 5	第2回理事会
3/19	第73回会員研修会
3/31	機関紙「岐阜の博物館」第162号発行

2 岐阜県博物館友の会

博物館「友の会」は、動物・植物・地学等の自然系や歴史・考古・民俗・美術工芸等の人文系などに興味、関心を持つ人々の展示観覧、研究、学習の便宜を図って、博物館の教育普及との密接な連携により、博物館の事業や活動をサポートしていく会である。

平成21年度の一般会員数は220名、後援会員は12個人・団体である。20年度比で一般会員は30名減、昨年度は19年度比で36名減である。ここ最近一層の減少傾向にある。継続会員の高齢化が進み、新規の会員数より退会者数が増えてきていることによるものである。後援会員数は1団体の退会と1個人の単年度新規加入で12件である。

県民に「友の会」の存在や活動内容について知ってもらうことが必要である。そのためにも館内での活動内容を紹介するパネル作成や友の会独自のHP等によるPRにも取り組み、また館との共催事業などで一層の連携を取り、豊かな活動に心がけて推進しているところである。

平成21年度の主な事業、行事は次の通りである。

(1) 会議

春季理事会・総会	5月 1日(金)
秋季理事会	10月22日(木)
会長・副会長会	3月13日(土)

(2) 各種委員会

会報委員会	4月24日(金)
探訪の旅委員会	5月12日(火)、12月8日(火)
七草委員会	11月13日(金)、1月6日(水)

(3) 広報誌の発行

季刊誌「友の会報」は95号(6月)、96号(10月)、97号(2月)の年3回発行。

各誌A4判6頁で図・写真オールカラー、各300部。

(4) 岐阜県博物館「展示案内」の増刷

平成20年度に日本生命財団より寄贈された岐阜県博物館「展示案内」を当会で1,000冊増刷し、販売中。

(5) 「岐阜の文楽」の増刷

秋季特別展「岐阜の文楽」に関連して文化庁の補助を得て刊行した図録「岐阜の文楽」を増刷し、販売中。

(6) 在庫図録の販売

在庫図録の販売は、館内販売と、外部施設での委託販売が中心である。またインターネットによる岐阜県博物館HP掲載により、図録の問い合わせ注文もある。委託による図録販売は、県内では「高山陣屋」、「岐阜県世界淡水魚水族館(アクア・トトぎふ)」、「下呂発温泉博物館」、「レストハウス花兆」、「岐阜県百年公園事務所」、「岐阜県図書館」の7ヶ所と、県外では「東京国立博物館」、「国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)」、の2ヶ所と委託販売契約を結んでいる。

(7) 博物館との共催事業の実施

①特別行事 「七草かゆを食べよう(1月7日(木))」は早朝は雪の舞う天候にもかかわらず約260名程の参加

があり、特に地元の市長、県議なども来館試食され、大いに賑わった。サポーター、ボランティアの協力等もあり、七草のクイズで知識を広め、無病息災を願って、七草がゆが参加者に提供でき、大変好評であった。

②わくわく体験共催事業

児童・生徒を対象とした化石クリーニング、化石レプリカ作成、糸からくり作成などの体験を郷土学習室でサポーターの協力も得て、土日祝日の他、夏季休業中に実施し、年間約2,500名の参加者があった。

③企画展関連事業 「石ころアートを作ろう」「江戸時代のおもちゃをつくろう(糸からくり)」企画展期間中

④たのしい博物館 「まが玉をつくろう」「化石のレプリカをつくろう」など15種25回。

(8) 友の会員入館の入館料補助

会員の博物館見学者は、4月1日～3月31日の1年間に、常設館への入館者240名、特別展期間中への入館者44名、合計284名の入館があり、その入館料(団体料金相当)を友の会で助成した。

(9) 探訪の旅

友の会では、会員相互の見聞を広め教養を高めるとともに、親睦を図ることを目的に、海外への探訪並びに国内の探訪を実施している。また児童生徒を対象とした自然探訪も実施し、好評を得た。

①自然探訪 期日は8月6日(木)に福井県恐竜博物館見学とかつやま恐竜の森での化石発掘体験をした。参加者は27名(小人15名、大人12名)。博物館では恐竜等の展示の充実さに感動し、化石発掘体験では雷雨の中、屋根下での作業で参加者は植物の化石等を発見し感動しながら取り組んだ。

②国内探訪 期日は11月20日(金)に秋の洛南散策(浄瑠璃寺～当尾の石仏群散策～岩船寺)の旅を実施した。参加者は47名。浄瑠璃寺では、阿弥陀堂内での9体の阿弥陀如来像と吉祥天女像を拝観、岩船寺では本堂の木造阿弥陀如来像を拝観し、天の邪鬼が屋根を支える三重塔等を見学。当尾の石仏は自然の岩壁に直接刻んだ磨崖仏で、「笑い仏」「阿弥陀・地藏磨崖仏」「三尊磨崖仏」などを見学。心の安らぎを得、充実した探訪の旅であった。

③海外探訪 第12回海外探訪の旅「ネパール世界遺産の旅6日間」を11月9日(月)～14日(土)に実施した。ネパールの首都カトマンズ、ブッダ生誕の地ルンビニ、旧王朝の首都パダン、帰依者の町というバクタブルの各都市にある旧王宮や寺院を見学、一部会員はヒマラヤ遊覧飛行にも参加した。

(10) 友の会活動PRに館内掲示板設置やHPの更新

岐阜県博物館友の会の存在を広く知ってもらうために、館内には友の会専用の掲示板を設置し、友の会の活動を紹介するコーナーを設けた。また、友の会の活動や入会案内や友の会刊行の図録の紹介等を中心としたホームページも更新した。

Ⅲ 利用案内（平成22年度）

- 開館時間 4月～10月 9時～16時30分（入館は16時まで）
11月～3月 9時30分～16時30分（同上）

●入館料

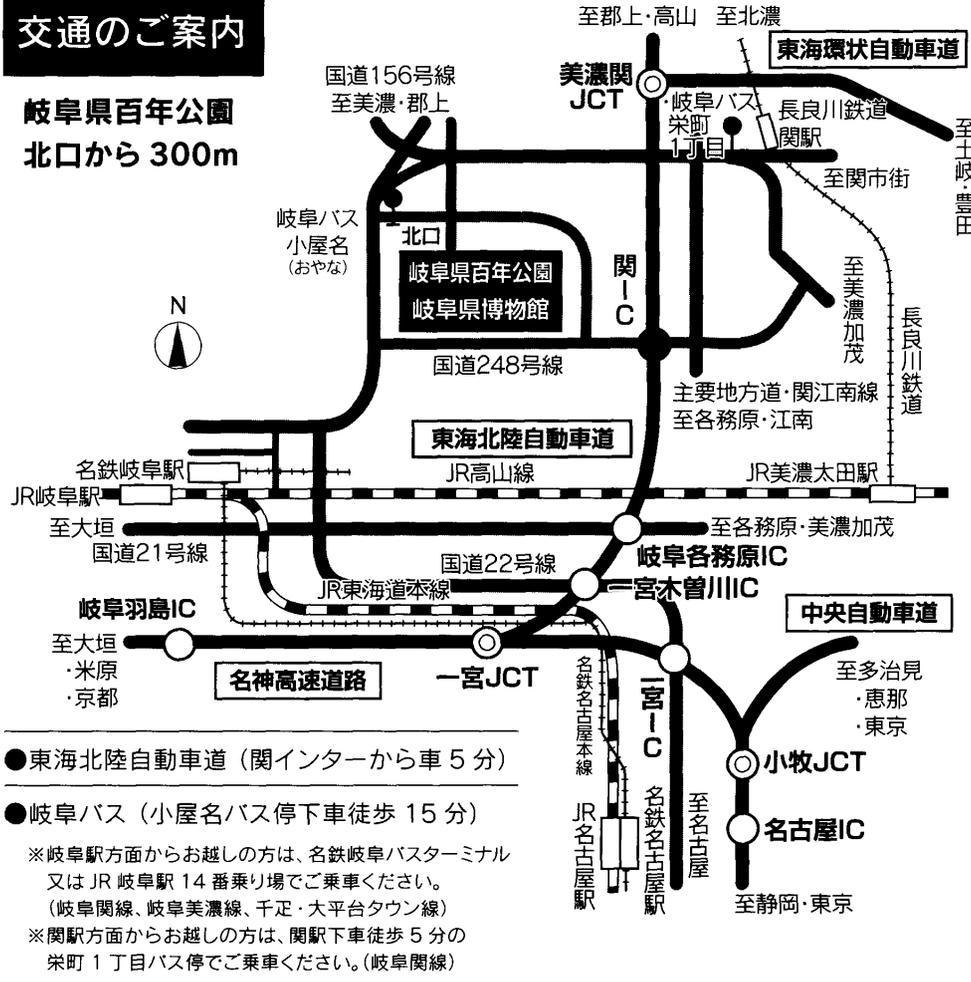
区分	本館		マイ・ミュージアム
	通常	特別展開催中	
一般	320(260)円	別途料金	無料
大学生	110(50)円		
小中高生	無料	無料	

() は20名以上の団体

- 休館日
 - ・月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌平日）
 - ・年末年始（12月29日～翌年1月3日）
 - ・資料整理日 平成22年12月28日
 - ・リニューアル工事 平成23年1月12日～2月20日
- 駐車場 岐阜県百年公園駐車場をご利用ください。
駐車料金・・・普通（軽）自動車300円 バス820円

交通のご案内

岐阜県百年公園
北口から300m



- 東海北陸自動車道（関インターから車5分）
- 岐阜バス（小屋名バス停下車徒歩15分）
 - ※岐阜駅方面からお越しの方は、名鉄岐阜バスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください。（岐阜関線、岐阜美濃線、千足・大平台タウン線）
 - ※関駅方面からお越しの方は、関駅下車徒歩5分の栄町1丁目バス停でご乗車ください。（岐阜関線）

岐阜県博物館へは岐阜県百年公園北口駐車場をご利用ください(有料)。歩行が困難な方は博物館まで車の乗り入れができますので、北口ゲートでお申し出ください。

〒501-3941 岐阜県関市小屋名 1989(岐阜県百年公園内)
TEL 0575-28-3111(代) FAX 0575-28-3110 URL <http://www.gifu-kenpaku.jp>